

台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2025年1月元旦特別号 NO.326

発行元：株式会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 TEL：03-5917-0045 FAX：03-5917-0047 E-mail:info@taiwannews.jp 台湾代表處 新北市林口區文化二路一段266號B1-8 TEL：02-2608-6177
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350 円 (税込) 定期購読 12 回：3,500 円 (税込) /NT.1,000

台湾新聞は現状の政権を尊重し、公正かつ中立の立場を理念として発行する唯一の新聞社です。政党や思想にとらわれない自由と平等な紙面構成を常に心がけております。皆さまからの暖かいご支援をお願い申し上げます。

台北駐日経済文化代表処 李逸洋代表

2025年元旦祝辞



台北駐日経済文化代表処 李逸洋代表

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年9月に駐日代表に就任して以来、この数カ月間に、改めて台湾と日本の関係の緊密さと重要性を実感しています。昨年は台湾東部の花蓮で大きな地震が発生しましたが、日本でも能登の地震災害があったにもかかわらず、いち早く日本の政府と国民の皆様方から

ら心温まるお見舞いの言葉と義援金を寄せていただき、改めて心より御礼を申し上げます。頼清徳総統(大統領)は日本を極めて重視しており、台日関係のさらなる発展を望んでいます。台日の良好な関係は、これまでの皆様方が長年にわたり積み重ねてきた友情の賜物であります。昨年秋の国際野球大会「プレミア12」で台湾が日本を破って優勝した際には、日本のたくさんの方々から「台湾おめでとう」と一緒に喜んでくれました。台湾と日本の友好関係がますます強固となる中で、東アジアをはじめとする国際情勢はめまぐるしく変化しており、台日両国の連携強化の必要性がますます高まっています。ロシアによるウクライナ侵略が続くなか、中国は毎日のように台湾周辺に軍機や軍艦を派遣し、軍事的圧力で統一を迫ろうとしているほか、

国連をはじめとする国際機関への台湾の参加を妨害しています。中国は国連総会第2758号決議(アルバニア決議)を曲解し、台湾が中国の一部であるかのように宣伝していますが、同決議は台湾に言及しておらず、中華民国(台湾)と中華人民共和国(中国)は互いに隷属していないのは客観的な事実であり、中国に台湾を代表する権利はありません。台湾は今年も引き続き、日本政府のご理解とご支持を得ながら、CPTPP(環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)やWHO(世界保健機関)への参加を求めていきます。台湾は国際社会に貢献できる能力があり、台湾を排除し続けることは国際社会にとっても損失といえます。台湾は世界の先端半導体の約90%を供給

しており、さらにAI(人工知能)の分野でも重要な役割を果たしています。もし中国による封鎖が発生すれば、全世界が大きな損失を受けます。台湾海峡の平和と繁栄は、台湾のみならず、世界各国の経済繁栄にも密接に関わっています。台湾と日本は自由、民主主義、人権、法の支配といった価値観を共有する大切なパートナーであり、私たちはこの良好な関係を次の世代に伝え、さらに発展させていかなければなりません。台湾は今年も日本、米国、欧州をはじめとする民主主義諸国との協力を深め、「民主主義の保護の傘」を広げ、台湾海峡の平和と繁栄を守っていきます。本年が良い一年となりますよう、皆様のご健勝とご多幸、並びに台日関係のますますの発展を祈念いたします。

TOPIC

- 日本語版
- 第3回 WBSC プレミア12で台湾が初優勝 9面
 - 民進党林右昌秘書長が自民党高市氏と会談 安全保障を強化 9面
 - 「台湾ランタンフェスティバル」26年は嘉義県で27年は苗栗県 10面
- 中国語版
- 北九州台湾同郷聯誼會會長交接 原田和昭接任薪火傳承 12面
 - 臺師大校友聯誼會盛大舉行日籍校友日校友共餐一堂 見證母校發展 12面
 - 東京客家崇正公會美食活動 透過料理宣傳客家文化 13面
 - 李安獲日藝壇界員爾世界文化獎 台灣首位藝術家受獎 14面
 - 日總商會會談會 了解僑胞歷史與台商發展史 14面

WEBでもニュース配付が楽しめます
<http://blog.taiwannews.jp/>

頼総統帰国

「台湾が民主主義守れば世界各国の支持得られる」



頼清徳総統は、中華民国(台湾)と外交関係を有する太平洋の国を訪れる(写真提供：中央社)

中華民国(台湾)と外交関係を持つ太平洋島しょ国のマーシャル諸島、ツバル、パラオを訪問していた頼清徳総統は12月6日夜、専用機で桃園国際空港に到着し、帰国した。到着後頼清徳は「台湾が民主主義を守り、深化させ、民主主義の普遍的価値で世界各国と交流すれば、必ずより多くの支持を得られ、台湾を守るだけでなく、地域の平和と安定も維持できるとの認識を示した。

頼清徳は「今回訪問した太平洋3カ国は台湾とオーストロネシア語族の文化を共有し、家族のように感じた」と強調。「公衆衛生や食料安全保障、気候変動、デジタルトランスフォーメーション(DX)、海洋安全保障の分野で多くの具体的な協力の成果が見られた。友好関係がより一層強固になると信じている」と述べた。また、新たな価値観外交の新時代を切り開いたとした上で「3カ国が全体主義国家による



頼清徳総統(写真提供：中央社)

脅威や誘惑に果敢に抵抗し、民主主義の普遍的価値を支持していることは、台湾と立場を共にする理由だ」と主張した。経由地の米ハワイや米領グアムの知事や議員らとの交流にも触れ「民主主義は台湾の最も貴重な資産だ」と述べた。その上で、今後引き続き民主主義や自由、人権の普遍的価値観を用いて世界の民主主義陣営とさらなる外交に取り組むと意欲を示した。



總統 頼清徳提詞



行政院長 卓泰榮提詞



僑務委員會委員長 徐佳青提詞



2025年頭所感



錢妙玲

臺灣新聞社 社主

新年明けましておめでとうございます。読者の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年は、1月に台湾の総統が頼清徳総統に変わり、台北駐日経済文化代表処の代表に李逸洋氏が就任しました。そして11月には「第3回 WBSC プレミア12」で台湾野球史上初の「国際大会初優勝」という栄誉を達成しました。台湾にとりまして将来に向けて栄えある一年でした。台湾新聞にとりまして、4月より新聞発行の形態を「紙媒体からNET配信」にシフトしました。記録媒体としての紙媒体を継続しながらも、速報性に競争力を持つNET配信にウエイトを傾けました。読者の皆さまからも好評をいただきました。本年も活字媒体としての新聞発行の役割を十分に発揮しながら、NET配信による速報性も堅持します。年度、国慶事節、元日号など、年間3回程度の新聞発行と合わせ情報提供して参ります。さらに、昨年8月下旬から三日間、上野恩賜公園で

「台湾祭り」を主催しました。上野公園の開催は7年振りでした。開催当初は天候にいささかの不安はありましたが、全国からの来場者で賑わいを見せていました。ご協力いただきましたスタッフの皆さまにおかれましてはこの場をお借りしまして感謝申し上げます。ありがとうございました。なかでも、好評を得たのが台湾新聞社独自のイベント「台湾の伝統芸能」のお披露目でした。「国光歌劇団」の歌仔戲、サンバチーム「蘭陽森巴舞踊団」のパフォーマンス、「金宇園掌中劇団」の人形劇など、日本ではほとんど観劇することができないため、来場者からは好評でした。さらに、来日して演舞した台湾人パフォーマーからは「日本で演舞できて嬉しかった」と感激の言葉もいただきました。本年も引き続き上野恩賜公園で開催する予定ですが、開催形態や内容などはさらに発展した形での開催を計画しております。

このほか、台湾半導体の最大手「TSMC」が熊本に工場建設して稼働を開始しております。経済面でも日台相互の発展に期待したいところです。台湾新聞も関連企業の訪日時にサポートしており生活インフラに関する情報提供の支援を続けて参ります。

台湾新聞は本年も、皆さまから広く情報を集め発信して参ります。それを紙面及びNETによる情報発信を皆さまに提供します。また、日本と台湾の有志による各種のイベント、企画なども支援して参ります。

本年も皆様にとりまして良い一年となります様祈念して参ります。



株式会社 台湾新聞社 社主 錢妙玲

<順不同>

2025 謹賀新年

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
今年もよろしくお願い致します。

令和7年 元旦 

謹賀新年

台北駐日經濟文化代表處

代表 **李逸洋**



台北駐大阪經濟文化辦事處

處長 (總領事) **洪英傑**

〒530-0005
大阪市北区中之島2-3-18中之島フェスティバルタワー19階
電話:(06)6227-8623 FAX:(06)6227-8214



謹賀新年

一般社団法人
日進人材協会



謹賀新年

台北駐日經濟文化代表處橫濱分處

處長 **張淑玲**

〒231-0021
横濱市中區日本大通り60番地朝日生命横濱ビル2階
TEL: 045-641-7736 FAX: 045-641-6870



台北駐日經濟文化代表處 札幌分處

處長 **粘信士**

〒060-0004
北海道札幌市中央区北四条西四丁目一番地
伊藤ビル5階
TEL:011-222-2930
FAX:011-222-9909



台北駐福岡經濟文化辦事處

處長 (總領事) **陳銘俊**

〒810-0024 福岡市中央区桜坂 3-12-42
TEL: 092-734-2810 FAX: 092-734-2819



台北駐日經濟文化代表處 那霸分處

處長 **王瑞豐**

〒900-0015
沖縄県那覇市久茂地三丁目十五-九 アルテビル那覇六階
TEL: 098-862-7008 FAX: 098-862-7016



謹賀新年

福岡県 豊前市

福岡県豊前市古市9-55
TEL: 0970-852-1111
FAX: 0970-852-5601

ふるさと納税
お申込みはこちら



日本マラソンの父 「金栗四三」生誕の地

Ph10の美肌の湯
「三加和温泉郷」

熊本県 和水町

〒865-0192
熊本県玉名郡和水町江田3886番地
TEL:0968-86-3111
FAX:0968-86-4215



謹賀新年

東京台湾商工会

會長 **張素娥**

副會長 **黑澤霞代子**

監事長 **蔡炎峰**

秘書長 **林惠子**

事務局長 **黃駿升**

顧問 **彭信孝**

顧問 **林安孝**

顧問 **蔣惠萍**

顧問 **蕭均樹**

顧問 **吉田姿信**

顧問 **黑澤霞代子**

暨 理監事一同

206-0022東京都多摩市聖ヶ丘3-51-4-1
TEL:042-375-4882 FAX:042-375-4883



中華民國留日東京華僑總會

會長 **蕭玉蘭**

副會長 **龔瀛宇**

林育良 富田家彰

暨 理監事一同

〒104-0061
東京都中央区銀座六丁目十三-16
TEL:(03)3541-7348
FAX:(03)3541-7481



謹賀新年

中華民國僑務委員會
僑務委員 **洪益芬**

今年もよろしくお願い致します



日本中華聯合總會青年部

部長 **新垣昌人**

副部長 **李明杰、吳淨雪、潘宇、劉怡慧、星原恩、伊藤和巳**

補佐 **又井公久、羅家瑋、橋爪敦哉、林豐德、林子傑、小野剛史、林怡君**

事務局長 **雷承福**

秘書 **陳姿陵、今野惠珠、黃翠、東鄉梨英**

監事長 **蔡雲仙**

暨 理監事一同

〒136-0071 東京都江東区亀戸9-6-19-2F
Fax:050-3512-3221 E-mail: rengosnb4@gmail.com
https://www.japan-taiwan.jp/youth



謹賀新年

中華民國留日大阪中華總會

名譽會長 **洪勝信**

會長代長 **郭重信**

副會長 **蔡伸雄**

副會長 **顏陳修**

副會長 **顏陳修**

副會長 **林真裕**

副會長 **許真裕**

副會長 **葉俊麟**

暨 理監事一同

〒545-0083
大阪府中央区東船場一丁目八番十五
電話:(06)6271-1361
FAX:(06)6271-1361



謹賀新年

皆さまのご多幸をお祈り申し上げます
本年もよろしくお願い致します

2025年元旦

チャイナエアライン
日本支社長 **李宜洲**

Happy New Year 2025





一般社団法人 日本台灣不動産協会

理事 濱田裕子 (林裕玲)

創會會長 錢妙玲

副理事長 林佳慶

副理事長 富田家彰

專務理事 棚岡麗

理事 黑澤霞代子

理事 塩澤季子

理事 伊藤和己

理事 廖惠萍

事務局長 中川翔詠

財務局長 松野佑泉

日本信賴台灣之友會

總會長 陳天隆 Dnagon Chen

日本信賴台灣之友會 總會長 國策顧問

總統府 日本台灣後援會 會長

名家 華中華 會長

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-2-22ハービスエント5階
E-mail: chen.0818@icloud.com Mobile: 090-3273-7288



世界華人工商婦女企管協會 日本分會

名譽會長 鄭玉蘭 謝美香 本田櫻子 濱田裕子 錢妙玲 紀秋美

副會長 尹世玲 蕭樹剛 竜川媛 渡辺明日香 森玲子 廣田工三 黃登敏 洪麗華 吳秀蘭 吳動華 新垣旬子 佐谷静玲 松井芳親 曾鳳蘭 木村敬恵 吳品潔 蕭玉蘭 游泰慶 張維正 陳五福 鄭尊仁 趙之寬 東郷清隆 楊立寧 洪柏青 長興博典 周東寬 簡蕙幸

監事長 吉田文子
秘書長 林信姬
副秘書長 錢慈斐 孫梓斐
執行長 橫田航南 副執行長 林小婷
財務長 林慶媛 副財務長 張本麗珍
資訊長 許文馨 公關部長 卓綉瑛
社團活動部長 米田華給
廣告文宣部長 李寶蘭

我愛世華 世華愛我

日本橫濱台灣商會

會長 河道台

理監事一同

〒231-0801 神奈川縣横浜市中央区新山下3-2-9
TEL:045-625-3658 FAX:045-625-3656

中華民國留日京都華僑總會

會長 魏禧之

名譽會長 安田伊佐男

副會長 八木アイリオン

副會長 安田隆昌

副會長 大嶋理絵

理監事一同

〒602-0109 京都市上京区西洞院
一条下る讚洲寺町二三七番地 同洋會館内
TEL-FAX: 〇七五-四一四一〇三九九

世界華人工商婦女企管協會 日本關西分會

會長 林伊曼

副會長 劉秀霞

榮譽會長 謝美香

名譽會長 洪麗華

副會長 中西美姬

高見彩琴

東良華珠

川野榮子

黃村純子

鄭雅馨

監事長 林孟慧

秘書長 連玉靜

財務長 胡羅娟娟

理監事・會員一同

世界華人工商婦女企管協會 日本關東分會

創會會長 鄭玉蘭

輔導會長 俞秀霞

諮詢顧問 謝美香

諮詢顧問 濱田裕子

諮詢顧問 錢妙玲

諮詢顧問 本田櫻子

諮詢顧問 紀秋美

諮詢顧問 新垣旬子

諮詢顧問 洪麗華

諮詢顧問 劉美玲

諮詢顧問 洪益芬

諮詢顧問 陳怡文

諮詢顧問 羅富齡

諮詢顧問 張天賜

諮詢顧問 陳五福

諮詢顧問 鄭宗敏

諮詢顧問 黃碧霞

諮詢顧問 孫淑美

諮詢顧問 顧淑滿

副會長 歐孝明

副會長 桐山利惠子

秘書長 劉娟伶

執行長 杉山純子

財務長 袁依玲

廣報長 山下柚里

資訊長 李禾

活動部長 加藤綾

理監事・會員一同

千葉県中華總會

會長 濱田裕子 (林裕玲)

理監事一同

事務所住所
〒206-0032 千葉市中央区登戸1-19-6-304
TEL:043-246-5465 FAX:043-246-5465

日本榮光聯誼會

理事長 何道台

〒231-0801 神奈川縣横浜市中央区新山下3-2-9
Tel:045-625-3658 FAX:045-625-3656

謹賀新年

中華民國留日橫濱華僑總會

會長 許耀庚

暨 理監事一同

〒231-0023 横浜市中央区山下町1-40番地
TEL:〇四五-一六八一-二二一
FAX:〇四五-二〇一一-二八五五

謹賀新年

本年も宜しくお願ひ致します。

一般社団法人 日本千葉台灣商會

會長 王育崎

理監事會員一同

在日學人團體

國建會日本聯誼會
會長 張銀漢 (吉永耕介)

留日大學教師聯誼會
會長 詹秀娟

静岡県台湾總會

會長 春山紘輝

〒431-3113 静岡県浜松市中央区大瀬町 453
TEL: 053-431-5615 FAX: 053-431-5595

謹賀新年

日本國際客家文化協會

會長 邱泱棟

暨 全體理監事一同

東京都板橋區板橋一丁目一四七番九号
電話: 〇三三-五九一-三三三
FAX: 〇三三-五九一-〇八九

謹賀新年

日本北陸台灣商會

會長 島田惠

暨 理監事一同

〒939-1130 富山県砺波市石丸三二番八号
TEL: 〇八〇-五八五-八三七一

小学生から高校生まで 正しい中国語が学べる学校です

学校法人 東京中華学校

理事長 張建民

校長 王東生

〒102-0076 東京都千代田区五番町14
電話 03-3261-4994 (教務室) 電話 03-3261-5894 (事務局) Fax 03-3261-1981

恭賀新年

學校法人橫濱中華學院

理事長 羅鴻健

校長 杜文劍

〒225-0011 横浜市中区山下町一四二番地
電話: 〇四五(六八)一三六〇八

恭賀新年

學校法人大阪中華學校

理事長 連茂雄

校長 蔣燁

〒556-0011 大阪府浪速区東津守一丁目八番十三号
電話: 〇六六-六四九-六八四九

謹賀新年

山梨台灣總會

會長 林美郷

暨 理監事一同

〒400-0043 山梨県甲府市西寺八丁目十一号
TEL: 〇九〇-八二四-二二三三〇

日本欣華會

G·C·S·OSAKA



會長 李忠儒

理監事一同



G·C·S·三大精神「善意・協同・奉仕」大阪中華學校家長OB會

〒559-0017 大阪市住之江区中加賀屋2丁目10-15 電話：(06)6682-2627 FAX：(06)6682-2625

中華民國留日神戶華僑總會

2025年10月に
本總會は創立80年を迎え、
記念誌を発行致します。

本年もよろしく
お願ひ申し上げます

會長 高四代

理監事一同

令和七年 元旦

〒650-0002 兵庫県神戸市中央区北野町4-2-1
電話：(078)221-5445 FAX：(078)221-5447

謹賀新年

全日本客家崇正聯合總會 會長 **劉得寬**

東京客家崇正公會 會長 **李克順**

日本客家關西崇正會 會長 **鄒孟儒**

東京客家崇正公會謹訂於今年3月30日(日)在ホテル雅叙園東京
舉辦本會創立六十二周年記念暨第55屆會員懇親大會。
歡迎僑界諸前輩、鄉親好友光臨、共襄盛舉。

日本關西媽祖會

會員一同

名譽顧問
松本利明
上島寛宏
野田彰子
陳天隆
張錫璋
林錫惠
石津雅惠

名譽顧問
蔡美銀
內藤孝雄
邱阿香
陳雪娥
張方瑜
野口佳容
李明珍

名譽顧問
廖麗香
東郷清龍
新垣旬子
高國華
蘇明正
周麗心

名譽顧問
川野榮子
邱建富

〒538-0042 大阪府大阪市鶴見区今津中5丁-1-15
TEL:06-6965-1515 FAX:06-6965-1519 E-mail:k.tabi@triton.ocn.ne.jp

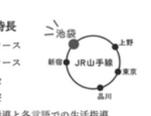
東京語文學院

日本語の翼で
未来を拓く

本校の沿革
本学院は1985年に設立し、日本語教育振興協会第一回目の認定校の一つです。本学院は設立当初、外交官などの日本語教育を主にやっていきましたが、日本の大学に進学したいという希望が多いため、日本の一流大学へ進学できる日本語教育機関に変化してきました。

本校の特長

- ✓ 進学コース
- ✓ 短期コース
- ✓ 奨学金
- ✓ 学生寮
- ✓ 進路指導と各言語での生活指導
- ✓ 日本文化の習得



〒171-0014 東京都豊島区池袋3-26-16
☎ +81-3-3986-4447
✉ info@i-study.net
LINE: tokyogobun
http://www.i-study.net/

医療法人同泰会守谷眼科皮膚科医院

医学博士 皮膚科専門医 **蕭俐俐**

〒302-0121 茨城県守谷市みずき野5-7-1
TEL:0297-45-6686 FAX: 0297-45-6750

Lily Original Cosme

渋谷国際皮膚科医院プロデュース
オリジナルコスメ



オンラインショップはこちら
www.lilyoriginalcosme.jp

〒150-0011 東京都渋谷区東1-27-10 東海ビル1階
TEL: 03-3486-6601
Mail: info@lilyoriginalcosme.jp
HP: http://www.lilyoriginalcosme.jp

株式会社 登豊商事

代表取締役 **陳 五福**

〒181-0013
東京都三鷹市下連雀 3-34-13 フォレスタ三鷹 1F
TEL: 0422-26-1811 FAX: 0422-76-8480

渋谷国際皮膚科医院

医学博士 院長 **蕭俐俐**

〒150-0011 東京都渋谷区東1-27-10 東海ビル1階
TEL: 03-3486-6601 FAX: 03-3486-6602

随園別館

随園別館では本場の北京風中華料理をお楽しみ頂けます。
北京ダック、ショウロンボウ、水餃子から中華タンメンや点心など、メニューは充実しております。
お昼にはランチタイムメニューも揃えております、ぜひ一度お越し下さいませ。

新宿本店
〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-7-4
TEL: 03-3351-3511

京橋店
〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1番 東京スクエアガーデン 2F-4
TEL: 03-3527-9954

株式会社 達勝

中古車及び部品 買取販売輸出 こくないネット販売

<https://auctions.yahoo.co.jp/seller/focus01010>

〒286-0212 千葉県富里市十倉190-27
TEL 0476-33-6988 FAX 0476-33-6989

学校法人 神戸学園グループ

総長 **蔣 惠萍**

〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町15-14
日本橋F BUSINESS CUBE 5F
TEL: 03-6661-7198 FAX: 03-6661-7128

謹賀新年

アジア食品・酒類輸入卸

友盛貿易株式会社

食の世界をもっとおいしく、もっとたのしく。

〒231-0011 横浜市中区太田町 2-31-1
TEL: 045-226-2298 FAX: 045-663-2289

高度な設備と診断と医療で人を健康に導く『健康長寿に生きる、健康一番！元氣一直線』

医療法人 健身会
理事長・3施設統括院長
南越谷健身会クリニック 越谷市七町 1-304-1
歌川医院「せんげん会」 越谷市千間台西 1-67
大原医院 越谷市長山 1199 山崎ビル 1A
抗老化専門治療 ホルモン、テラメル、ラフン、
幹細胞上澄み液治療、レーザー光線治療

医学博士 **周東 寛**
TEL 048-990-0777 FAX 048-990-8888
TEL 048-978-1113 FAX 048-978-3721
TEL 048-977-1234 FAX 048-975-1607

【周東先生からのお知らせ】
健康情報満載のブログ「周東寛のトクコム」に先生作詞・収録の音楽・動画、ぜひご覧ください。
周東寛先生がラジオに出演しました。インターネットで「周東寛 ラジオ」で検索してみてください。
YouTubeでご覧いただけます。

謹賀新年

新興ビルディング (株)

代表取締役 **田宮 守**

東京都八王子市高倉町四三六一
電話：〇四二-六四五-〇〇〇二 FAX：〇四二-六四五-〇〇五七

謹賀新年

第一生命保険株式会社 池袋総合支社

自営業オフィス(FP) **郭 惠儂**

法人保険 外貨積立貯金 〒171-0022
個人生命医療年金保険 東京都豊島区南池袋2-30-11池袋第一生命ビル10階
国内外旅遊保険 火災 自動車損保 TEL:080-4165-6899 E-MAIL:mileka.eli@icloud.com

謹賀新年

大阪弁天町台湾華語教室

校長 **陳 迦 豔**

〒552-0007
大阪府大阪市港弁天町三丁目一七番六号
TEL: (06)6666-2611 九三六三
FAX: (06)6666-2611 九三六三

多賀本司法書士事務所

代表 **多賀本 健介**

〒167-0051 東京都杉並区荻窪四一三二一九
TEL: 〇三三六二七九一九六一
FAX: 〇三三六二七九一九六一



謹賀新年

三富グループ会社

三富株式会社
新富株式会社
ライフ株式会社
スター株式会社
スリースター株式会社
スターホーム株式会社
山河株式会社
株式会社干場
東京こころ日本語学校

当グループは2007年設立以来、よりよい住環境の創造と提供をモットーに、首都圏を中心に高付加価値の自社賃貸不動産物件約60棟を有し、選定された六社の管理会社で運営する不動産総合会社です。そのうえ、日本だけに留まらず、中華圏(台湾・香港・シンガポール)を中心に、東南アジア、アメリカでの不動産コンサルティング業務を一手掛けるワールドワイドの不動産ビジネスを積極的に展開する企業でござります。更に良い賃貸マンション、良い賃貸ビルをオーナーとして購入し、人々に良い住まいを提供出来るように、邁進しております。それに、近年その多角的な事業を担うグローバル人材を育成するために、教育を新規事業として取り入れ始めました。

会長 濱田裕子

日本台湾不動産協会 理事長
千葉縣中華總會 創會會長
日本千葉台灣商會 常任副會長
日本中華聯合總會 第五屆總會長
日本台灣商會聯合總會 名譽會長
世界華人工商婦女企管協會日本分會 理事
東京こころ日本語学校 理事長
三富株式会社グループ 會長
日本關東地區關懷救助協會 會長

〒130-0026 東京都墨田区両国一三二二一六
両国中屋ビル六階
TEL:03-6659-1586
FAX:03-6659-1589
携帯:080-3441-0936
Email: khamada@antoni-early.co.jp



謹賀新年

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます

千里殖産 代表取締役 際田越久

〒860-0033
熊本県熊本市中央区紺屋阿弥陀寺町10番地 千里殖産ビル5階
TEL: 096-322-1000 FAX: 096-326-5522
E-mail: info@senri-shokusan.jp ホームページ: https://www.senri-shokusan.jp/



宗教法人 日本大道院 純陽宮

〒289-0216 千葉県香取郡神崎町植房950-1
TEL: 0478-72-1068 FAX: 0478-72-1089



謹賀新年

青森県日華親善協会

会長 山崎 結子

〒030-0801
青森市本町五丁目七番二六
電話: 017-731-1334
FAX: 017-731-1339



大鑫産業株式会社

代表取締役 林 徳偉

本社 〒306-0515 茨城県坂東市杏掛 6464 番地 TEL: 0297-30-3308 FAX: 0297-30-3309
小泉工場 〒306-0635 茨城県坂東市小泉 988-1 番地 TEL: 0297-38-1791 FAX: 0297-38-1792



あけましておめでとう
あけましておめでとう
あけましておめでとう

嘉勝商事株式会社

代表取締役 頼 浩生

本社 〒152-0032 東京都目黒区平町 1-4-29-508 TEL: 03-6421-1253 FAX: 03-6421-1704
営業所 〒123-0842 東京都足立区栗原 1-18-7-303 TEL: 090-7723-7286 howard.lai1029@gmail.com



謹賀新年

東永商事株式会社 台湾菸酒公司啤酒類日本總代理

代表取締役 河 美紀

〒231-0801 横浜市中区新山下3-2-9
TEL: 045-625-3658 FAX: 045-625-3656

あけましておめでとう
あけましておめでとう
あけましておめでとう

スグ行ける台湾! 90種類の小皿料理が目白押し!
ゼンマイ台湾に行きたくなる! 赤提灯が目印の創業40年「台南担仔麵タイナンターミー」は本場台湾料理を楽しめる老舗。
台湾屋台をイメージした店内で、90種類以上の小皿料理が気軽に味わえます。女子会やお人様、宴会にもおすすめの人気店です!
店家資訊
台南担仔麵 新宿本店 TEL: 03-3232-8839
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-45-1 常盤ビル1F

株式会社 東立製作所

ステンレス加工品の「割れ」や「腐食」のリスクを回避する
最高品質の絞り加工技術でハイテク業界に貢献

〒311-3123 茨城県東茨城郡茨城町若宮264-10
TEL: 029-306-8200 (代) FAX: 029-293-8745
https://www.torix.jp



台湾日本Radio Express 国際ラジオ放送株式会社(ラジオ成田)
毎週月曜日20時~83.7MHz
出演 吉村剛史 (元産経新聞台北支局長 ジャーナリスト)
和田健一郎 (当スタジオ所属無償従事者 第一級路上無線技術士 元白井市議)

ヤシヒロ歯科クリニック
HAPPY YEAR 2025
院長 千 康 浩
〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-15-2 MFABRIGUE101
TEL: FAX: 03-5910-5080

謹賀新年
中国信託商業銀行 東京支店
カントリーCEO 支店長 松沢良治
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町1-1-3
紀尾井ビルディング12F 紀尾井3階
TEL: 03-3556-1181 FAX: 03-3556-1182

謹賀新年
スリーエスデリバリー有限公司
代表取締役 大庭 静男
取締役 大庭 春美 (張春美)
〒169-0073 東京都新宿区百人町二丁目二十四番一四一〇三
TEL: FAX: 03-5389-1645

謹賀新年
大塚税理士・行政書士事務所
代表 大塚 俊仁
〒171-0011 東京都豊島区南池袋二丁目二番二九号
TEL: 03-5533-3066 FAX: 03-5533-3067
〒171-0011 東京都豊島区池袋二丁目二番二九号
TEL: 03-5533-3066 FAX: 03-5533-3067

謹賀新年
熊本電気鉄道株式会社
代表取締役社長 中島 敬高
〒860-0621 熊本県中央区黒髪三丁目七番二九号
電話: 096-343-1152 FAX: 096-343-1152
〒860-0621 熊本県中央区黒髪三丁目七番二九号
電話: 096-343-1152 FAX: 096-343-1152

謹賀新年
NOBORU 国際法務行政書士事務所
代表行政書士 黄駿 升
〒160-0011 東京都新宿区新宿一丁目四番一四二号室
TEL: 03-5561-6571 FAX: 03-5561-6571

謹賀新年
株式会社レバリユー
代表取締役 宮崎 太輔
〒111-0011 東京都墨田区東向島五丁目三番三〇七
TEL: 03-6657-7000 FAX: 03-6657-7000

謹賀新年
司法書士法人プライマリー
代表社員 吉田 浩之
〒164-0001 東京都中野区中野二丁目二番一六〇一号
TEL: 03-6382-4333 FAX: 03-6382-4333

謹賀新年
東京都知事(第九〇七八号) 有限会社メトロ不動産開発
代表 黒澤霞代子
〒160-0011 東京都新宿区新宿一丁目二番二五
TEL: 03-3351-5188 FAX: 03-3351-5188
MAIL: info@metro-re.com
携帯: 080-1182-0101

株式会社拓洋

代表取締役 **松浦 拓也** 〒553-0001
 MATSUURA TAKUYA 大阪府大阪市福島区海老江 1-1-59-301
 TEL: 06-6453-7577 / FAX: 06-6453-7566

Happy New Year



謹賀新年 二〇二五



到熊本找京本!



京本株式会社

不動産開発・売買・賃貸・管理

代表取締役 **陳 振興**
 〒861-1112 熊本県合志市幾久富 1909-686
 TEL: 096-2766408 FAX: 096-2766409
 www.kyomotojp.com



謹賀新年

新春のお慶びを申し上げます。変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

令和七年 元旦



鮎水橋

Dian Shui Lou

〒166-0022 新宿本館 03-5363-7220
 東京都新宿区新宿3-16-1
 〒160-0004 四谷別館 03-6709-9681
 東京都新宿区四谷3-13-23

代表取締役 陳怡文

謹賀新年
 理美容用品総合卸商社
 株式会社ベル・ネット
 代表取締役 鈴木英夫 鈴木秋美
 専務取締役

〒113-0082 埼玉県さいたま市北區西町一丁目七十九番三
 電話: 048-661-1636
 FAX: 048-661-1639



謹賀新年
 有限会社 さくら建機
徐文宗
 〒104-0044 千葉県四街道市大日一六五九-1
 TEL: 0433-241160



謹賀新年
 HAPPY LEMON 新宿店
 HAPPY LEMON 誠品生活日本橋店
 日本代表 **林太一**



あけまして
 おめでとう
 ございませう
 令和七年

栄進株式会社

代表 **林良育**
 〒305-0862
 茨城県つくば市東丸山 29-11
 TEL/FAX: 0298-798578

謹賀新年

吉昇貿易株式会社

代表取締役 **張素娥**
 〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘3-51-4-1
 TEL: 042-375-4882 FAX: 042-375-4883



京都念慈庵

とろ〜りとした液体ですので時間を気にせずさっと飲めます♪



スーッと爽やかカラメルベースで昔の咳止めシロップのような味です。

- ①びわシロップ
- ②のど飴



台湾セレクト TAIWAN 謹賀新年
 台湾銘品専門店

謹賀新年

株式会社 ランダムスクウェア
 代表取締役 **高嶺 信彦**
 〒812-0027 福岡県多摩区下川端町1-13
 明治通りビジネスセンター別館5階
 TEL: 092-2121100
 FAX: 092-2121108

謹賀新年

株式会社 ビケンテクノ
 代表取締役社長 **梶山 龍誠**
 〒141-0031 東京都品川区西五反田4-1-13
 五反田Jビルディング5階
 TEL: 03-3672-6310
 FAX: 03-3672-6311

謹賀新年

株式会社 JTB
 名古屋事業部
 〒453-6106 愛知県名古屋市中村区平池町4-60-12
 TEL: 090-4443-4045 FAX: 052-446-5160

未来を共に創造する
DAISANGEN
 東京都知事(2)第九七七一九号

恭賀新年

株式会社 大三元 | 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4
 03-5917-0727 03-5917-0047 08030136399 info@dsg140613.com www.dsg140613.com

謹賀新年

華瀛國際資本株式会社
 代表取締役社長 **吳孝展**
 執行役員 **卓紹誠 黃文明**
 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-1-19
 TEL: 050-5015-3373 050-5015-3375

謹賀新年

株式会社 エル・ティ・エル
 代表取締役 **吉田 姿伶**
 〒145-0065 東京都大田区東菅谷1-1-13
 TEL: 03-3642-1113 03-3642-1115
 FAX: 03-3642-1114 03-3642-1116

謹賀新年

有限会社 田代企画
 代表取締役 **田代 守**
 〒135-0044 東京都江東区越中島1-1-130
 TEL: 03-3822-1118
 FAX: 03-3822-1118



TOP 1

2024年台湾総統選挙と立法委員選挙 政権交代と新体制

台湾で総統・副総統選挙及び立法委員選挙が1月13日に実施され、民進黨の頼清徳氏と蕭美琴氏が約54%の得票率を獲得して総統と副総統に選出された。これにより民進黨は4期連続で政権を維持し、頼氏は蔡英文総統から政権を引き継いだ。立法委員選挙では国民党が大きく議席を伸ばし、113議席中52議席を獲得した。民進黨は51議席にとどまった。これにより立法院では「朝小野大」（行政は少数与党、立法院は野党多数）の構図となった。なお、韓国瑜氏が立法院長、江啓臣氏が副立法院長に就任した。台湾民衆党も一定の議席を獲得し、今後の法案審議で「重要な役割を果たす」と予想された。選挙期間中は経済や社会福祉、国防など幅広い

政策課題が争点となり、特に政党間の協力の必要性が指摘された。選挙後は頼清徳総統は新内閣を組閣した。一方、立法院は野党多数派により政府監視を強化させ、法案審議で多くの論議が予想された。



台湾総統選で頼候補が勝利 (写真提供：中央社)

2024年 台湾 5大NEWS

2024年に台湾で起こった5大ニュースを台湾新聞が独自に選出！
昨年1年間の出来事を振り返りましょう。

TOP 2

台湾東部沖 M7.2の地震 花蓮県で6強、台湾全体で影響

台湾東部の花蓮県近海で4月3日午前7時58分、マグニチュード7.2の強い地震が発生した。地震は台湾全土で広く揺れ、特に花蓮市と台東市では激しい被害を受けた。この地震により18人が死亡、1155人が負傷、2人が行方不明となった。地震で約2500棟の建物が損壊し、住宅や商業施設の倒壊が相次いだ。また、多くの道路や橋梁が崩壊し、交通網が寸断された。広範囲で停電や断水も発生し、住民の生活に深刻な影響を及ぼした。農業や漁業にも多大な被害が出ており、被害総額は約300億台湾ドル（約1400億円）と推定された。地震発生後、政府は直ちに災害対策本部を設置し、救助隊を被災地に派遣した。消防や警察、軍隊が連携し、生存者の救出や行方不明者の捜索に全力を尽くした。避難所も設置され、被災者に食料や水、毛布などの生活必需品が提供された。復旧作業はしばらく続き、道路やインフラの修復、仮設住宅の建設が進められた。政府は被災者への補償金支給や再建支援を行い、地域社会の早期復興を目指した。一方で余震も頻発しており、一部地域ではさらなる安全確保が求められた。



建物が傾斜 (写真提供：中央社)

TOP 3

TSMC初の日本国内工場 「JASM」の開所式開催

世界最大手の半導体受託生産会社 TSMC の製造子会社である Japan Advanced Semiconductor Manufacturing (JASM) は2月24日、熊本県菊陽町の熊本第一工場の開所式を開催した。式典には岸田文雄首相がビデオメッセージを寄せ、政府の支援策として予算、税制、規制改革をスピーディーに実行し、第二工場への財政支援も表明した。また、経済産業相の齋藤氏は補助額が最大7320億円になると明らかにした。式典で TSMC 創業者の張忠謀氏は「熊本工場が日本における半導体製造のルネサンスになることを期待している」と述べた。このほか式典には SMC 会長の Mark Liu 氏、CEO の C.C. Wei 氏、熊本県知事の蒲島郁夫氏、JASM 設立パートナーとしてソニーグループ半導体ソリューションズ株式会社の吉田憲一朗会長、デンソー株式会社の林新之助社長、トヨタ自動車株式会社の豊田章男会長、建設パートナーとして鹿島建設株式会社の天野裕正社長が出席した。JASM は、TSMC が約86.5%、ソニーセミコンダクタソリューションズが約6.0%、デンソーが約5.5%、トヨタが約2.0%出資しており、TSMC 初の日本国内工場となった。第二工場の建設も発表され「2027年末までの稼働開始を目指す」としている。



TSMC 初の日本国内工場「JASM」の開所式 (写真提供：中央社)

TOP 4

2024年中国による 台湾への軍事演習、緊張の激化

2024年は、中国から台湾周辺で複数回にわたる大規模な軍事演習が実施され、台湾海峡の緊張が一層高まった。1月には台湾総統選挙直後、解放軍が実弾演習を実施し、多数の航空機や艦艇が台湾の防空識別圏 (ADIZ) に侵入した。4月の演習では空母「山東」も参加し、台湾東側海域での活動やミサイル発射訓練が行われた。8月には過去最大規模の演習が実施され、約100機の戦闘機と20隻以上の艦艇が台湾周辺で実弾射撃や長距離ミサイル発射訓練を行った。台湾国防部によると、この演習中「解放軍の航空機が ADIZ に120回以上侵入した」と発した。台湾はこれらの演習に対抗し、防衛力強化を進める一方、米国や日本などの国際的支援を受けながら対応している。台湾海峡の緊張は地域全体に影響を及ぼしており、周辺国も警戒を強めている。



国軍が軍用機や軍艦で厳密に監視し対処した (写真提供：中央社)

TOP 5

台風も熱意を阻めず 日本台湾祭りが7年ぶりに上野で開催

「日本台湾祭り in 上野」が7年ぶりに上野公園で開催された。テーマは「復興支援の輪」。開催期間は8月30日から9月1日で、台湾文化やグルメの紹介に加え、能登半島震災や台湾東部沖地震への募金活動も行われた。台風の影響が懸念されたが、多くの日本人や欧米からの観光客が訪れ、台湾の存在感をアピールしていた。主催の台日文化交流基金の代表理事錢妙玲氏は

「パンデミックによる中断後、再び上野公園での開催を決定した。台湾の情熱と温かさを世界に伝える良い機会となった」と述べた。天候が不安定だったものの、無事にイベントは開催され、ボランティアや出展者、パフォーマーらに感謝の言葉を贈った。

イベントでは伝統的な台湾の芸能が披露され、特に「凱揚戯劇団」の台湾歌劇や「金宇園掌中劇団」の布袋劇、「妙璇舞踊団」の舞獅、「蘭陽サンバダンス団」のサンバダンスの演舞に来場者を魅了されていた。また、台湾のグルメとして滷肉飯、小籠包、大鶏排が大好評を博し、雪花氷やタピオカミルクティー、フルーツティーなどの夏のデザートも人気を集めていた。日本台湾祭りは、2015年に上野公園で初開催され、2017年に続いて今回が3回目の開催だった。



日本台湾祭りが7年ぶりに上野で開催

2024年「今年の漢字」

貪

台湾…「貪」

台湾紙「聯合報」主催による台湾の「今年の漢字」(台湾2024代表字大選)が12月7日に発表され、今年の世相を表す漢字は台湾の言葉で「欲張り」という意味を表す「貪(どん)」が選ばれた。総票数は75,926票で、台湾大総経理の林之晨氏が提案した理由は、個人の貪欲が最終的に社会

全体に損失をもたらすという警告であり、「貪字、貧字穀」という台湾の俗諺にも示されるように、過度な欲望を抑えることの重要性を訴えたもの。なお、2023年の「今年の漢字」は「缺」だった。この漢字は、物価高騰や電力不足などの社会問題により市民が感じた不安を反映されたもの。

金

日本…「金」

日本漢字能力検定協会(京都市)主催の漢字1文字で今年の日本の世相を表す「今年の漢字」に「金」が選ばれた。京都市東山区の清水寺で12月12日、森清範貫主が揮毫(きごう)した。選出は2000年、2012年、2016年、2021年に続く5回目。今年はオリ・パラの日本人選手や

大谷翔平選手などの活躍による「光」の『金(キン)』に加え、政治の裏金問題、闇バイトによる強盗事件、止まらない物価高騰など「影」の『金(かね)』を理由にあげる人が多数を占めた。揮毫された漢字は12月18日まで清水寺で一般公開され、同22日からは漢字ミュージアム(同市)に展示された。

2025 台湾ランタンフェスティバル

02.12.01 - 23
メインランタンエリア in 桃園

02.07.23
光の道劇場 in 桃園

台湾燈會 in 桃園

Digest News / October ~ December 2024

一日台の出来事をダイジェストで振り返ります

Oct.5 故宮南院で「沖繩月」スタート 琉球文化と現代沖繩を紹介

嘉義県の国立故宮博物院南院でこの日、「日本沖繩月」が開幕した。11月3日までの期間中、琉球王国の古い文物や現代沖繩の芸術を展示するほか、伝統芸能の上演や体験活動、講座などが行われた。アジア各地の芸術を紹介する「故宮亜州芸術節」の一環として開催している。初日には獅子舞パフォーマンスが披露され、蕭宗煌院長は「企画を通じて沖繩への理解を深めてほしい」と述べた。また、日本台湾交流協会の片山和之代表も出席し、沖繩がテーマに選ばれたことを喜びつつ、体験を通じた学びを勧めた。特別展「万国津梁・東アジア海上の琉球」も同時開催され、琉球の文化と歴史が紹介されていた。



開会式での上演 (写真提供: 故宮)

Oct.10 国慶日の花火大会で3万発が夜空を彩る 30万人超が集まる

中華民国国慶日を祝う花火大会がこの日の夜、台湾雲林県虎尾鎮で開催され、約41分間にわたり3万発の花火が打ち上げられた。雲林県の張麗善県長によると「開始1時間前には会場周辺に30万人以上が集まった」と話した。頼清徳総統はステージで「霹靂布袋戯」の要素を組み込んだ花火について触れ、雲林の文化や布袋戯の魅力を強調。韓国臨立法院長らと共に点火を行い、オーケストラの演奏に合わせた花火が夜空を彩った。さらに、ドローン400台によるショーが続き、台湾を守る神や雲林の文化が表現された。



国慶日の花火大会 (写真提供: 雲林県)

Oct.20 蔡英文前総統が欧州訪問から帰国 チェコやフランスなど3カ国歴訪

蔡英文前総統がこの日の午前、欧州歴訪を終えて帰国した。桃園国際空港に到着した蔡氏は、談話や取材対応を控えたものの、報道陣の問いかけに笑顔で応え、手を振った。2024年5月の退任後初の海外訪問で、チェコ、フランス、ベルギーの3カ国を訪れた。チェコでは国際会議「フォーラム2000」で講演し、民主主義国家の連帯を訴え、フランスでは上院と大学を訪問。ベルギーではEU欧州議会を訪れ議員らと交流した。台湾外交部は「欧州との協力深化を通じて世界や地域の安全と繁栄を守る」と強調した。



蔡英文前総統が欧州訪問から帰国 (蔡英文のフェイスブックより)

Oct.25 中信2年ぶり10回目の優勝 日本人監督として28年ぶり

台湾プロ野球の中信ブラザーズはこの日、台湾シリーズ第5戦で統一ライオンズを4-1で下し、対戦成績4勝1敗で2年ぶり10回目の優勝を果たした。平野恵一監督は、就任1年目で日本人として28年ぶり4人目の台湾一の監督となる快挙を達成した。試合は初回に1点を先制された中信が、その裏に2点を奪い逆転。その後、六回と八回に追加点を挙げリードを広げた。先発のホセ・デボラ投手は7回1失点の好投で、このシリーズ2勝目をマークし、第1戦に続き MVP を受賞。独立リーグ経験を持つデボラの活躍が優勝の原動力となった。



中信2年ぶり10回目の優勝 (中信ブラザーズのフェイスブックより)

Oct.29 台中警、紛失自転車日本人旅行者に返還 親切心に感謝

台中市でこのほど、旅行中に折り畳み自転車を紛失した60代の日本人男性のために、警察官が捜索に協力した。防犯カメラの映像から、男性が意図せずに駐輪場所を誤っていたと判明し、警察が周辺を捜索して自転車を発見した。自転車は男性が60歳の誕生日に妻から贈られた大切なもので、警察とのコミュニケーションには翻訳アプリを使用。男性は見つかった自転車を確認すると感謝し「台湾人の親切さは百聞は一見にしかず」と話していた。



台中警と日本人旅行者の記念撮影 (写真提供: 中央社)

Nov.6 内政部が中華統一促進党の解散請求へ 国家安全に重大な脅威

台湾内政部はこの日、中華統一促進党が中国資金で選挙干渉や組織発展を行い、国家安全や社会秩序、選挙の公正性を著しく脅かしたとして、政党法に基づき憲法法院に解散を請求すると発表した。同党幹部の張孟崇氏夫妻は、2011年以降中国から約7400万台湾元を受領し、国民投票や候補者宣伝に関与したとして起訴されている。また、同党は殺人や選挙妨害を含む幅広い犯罪に関与し、2010年以降の違反者は134人に上るとされる。内政部は「憲法が政党的自由を保障する一方で、民主主義の原則を守る義務を強調。同党の行為が憲政秩序に害を与える」として違憲判断を求める方針。



中華統一促進党 (中華統一促進党フェイスブックより)

Nov.8 茨城県内の小中学校 今年も給食に台湾バナナ5万4千人以上

茨城県内18市町村の239校で、今年も台湾産バナナが学校給食に提供されている。農業部の胡忠一政務次長や李逸洋駐日代表がこの日、那珂市立第一中学校を訪問し、台湾産バナナを使った給食を生徒と共に食べ、交流を深めた。農業部は2019年に茨城県空問市と「食を通じた文化交流と連携強化に関する覚書」を締結し、これをきっかけに台湾産バナナやマンゴーが学校給食に提供されるようになった。24年度は5万4千人以上の児童生徒に台湾産バナナが提供される見通しで、生徒たちはその栄養価や美味しさを楽しんでいる。



茨城県内の239校で、今年も台湾産バナナが学校給食に提供されている (写真提供: 農業部)

Nov.14 新北市に三井アウトレット新館開業、年間600億円売上目指す

台湾新北市林口区にある「三井アウトレットパーク台湾林口II館」がこの日、正式開業した。すでに2024年10月23日にプレオープンしており、約100店舗が入居している。アウトレット店と通常店が半数ずつを占め、既存の「I館」と合わせて約300店舗となる。三井不動産の子会社、三新二興特萊斯の村原良祐総経理は「林口地区の人口増加に対応するため、ユニクロや無印良品、アカチャンホンポなどの大型生活用品店を出店させた」と述べ、今後はアウトレット店の増設と飲食エリア拡張を予定している。目標は「両館の売上」で25年までに125億台湾元(約600億円)の達成」としている。



三井アウトレットパーク台湾林口II館 (写真提供: 三井アウトレット)

Nov.26 古林睿煬投手、日本ハム入団会見

北海道日本ハムファイターズに移籍した古林睿煬投手の入団会見がこの日、台北市で行われた。背番号「37」のユニフォームを着た古林は、今後の挑戦に意気込みを示した。2000年生まれで古林は、2018年に統一ライオンズに入団し、24年シーズンで年間 MVP、最優秀防御率、ベストナインを獲得。台湾野球の未来を切り開く一歩として「台湾からも優れた選手が育成できることを証明したい」と語った。会見では、古林が慕う「第二の父」林岳平監督が涙ながらに言葉をかけ、古林が苦しい時期を振り返りながら「選手を海外に送り出したことは誇りだ」と話した。栗山英樹 CBO は、古林が大リーグに挑戦する日も来ると期待し、全力でサポートする意向を示した。また、古林は祖母と手をつなぎ、背番号「100」のユニフォームを着た祖母との入場もあり、会場は感動的な雰囲気になった。ダルビッシュ有投手からのメッセージも届き、古林は「感動した」と語った。



古林睿煬投手 (写真提供: 中央社)

Nov.28 円山ホテル 竜のオブジェが鎮座する噴水復元

台北市の老舗ホテル「円山大飯店(グランドホテル台北)」でこのほど、日本統治時代に設置されていた「神竜噴水」が復元され、台湾神社時代の雰囲気がいよみがえった。この竜のオブジェは1919年に日本人商人によって台湾神社に奉納され、その後、戦後にホテルの増築に伴い室内に移設された。復元された噴水には、新たに竜のオブジェが二つ並ぶ形となり、この日にお披露目式が行われた。円山大飯店の葉菊蘭董事長は「竜のオブジェの復元がホテルの伝承と革新を象徴している」と強調した。さらに「噴水はホテルの緊急避難通路として建設された東側地下通路のガイドツアーの一部として組み込まれ、訪れる人々にホテルの歴史と文化を感じてもらおうことを目指している」と話した。



披露目された竜のオブジェが鎮座する噴水 (グランドホテル台北提供)

Dec.2 オリックス入団の陳睦衡が台北で会見

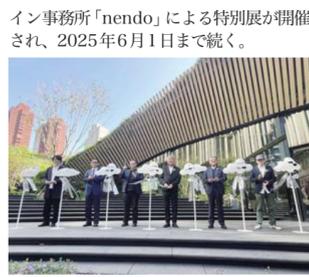
オリックス・バファローズに育成で入団した陳睦衡投手がこの日、台北市内で入団会見を行い、福良淳一ゼネラルマネージャー(GM)や岸田監督が同席した。福良 GM は台湾選手のレベルの高さを実感しており、陳の成長に期待を寄せている。陳は18歳で、穀保家事商業高を卒業したばかり。身長181センチ、体重84キロの右投げ左打ちで、投打二刀流の選手。今年のU18アジア選手権では、台湾の優勝に貢献し、最優秀防御率と最高勝率を記録。大会オールスターチームの先発投手部門にも選出された。岸田監督は、陳を力強いストレートを投げる山下舜平大投手に似ていると評価。日本でのトレーニング中、山下選手からサインとスパイクをもらい、同じ



陳睦衡投手 (写真提供: 中央社)

Dec.10 台中の「勤美術館」リニューアル開館 隈研吾氏「大地と緑と複合」

台湾台中市の「勤美術館」がこのほどリニューアルオープンし、この日記念式典が行われた。式典には建物の設計を担当した隈研吾氏、台中市の鄭煥新副市長らが出席した。勤美術館は2012年に小学校跡地に開館。約6年をかけてリニューアル工事を進め、精密部品製造などを手がける勤美グループが運営を担当する。隈氏は「文化と商業が複合することがこれからの都市に最も必要なこと」と述べ、「この美術館ほど、複合を徹底的に実現した例は世界にはない」と強調した。同13日からは、日本の建築家・佐藤オオキ氏が代表を務めるデザ



式典の記念撮影 (写真提供: 中央社)

Dec.14 国軍の装甲車やヘリコプター 台湾のアニメフェスで特別展示

台湾高雄市の「駁二芸術特区」でこの日、恒例のアニメ・漫画イベント「駁二動漫祭同人誌創作展」が開催された。会場では、国軍を題材にした作品を手がける出展者が多く、来場者に新たな視界を提供するため、国産装甲車「雲豹」や観測ヘリコプター「OH58D」、攻撃ヘリコプター「AH1W」などが初めて展示された。このイベントは2011年から毎年開催され、コスプレコンテストやコンサートも実施される。高雄市政府文化局の王文翠局長は「イベントが多様なアニメ・漫画文化を探索し、軍事が創作の主要テーマの一つである」と強調した。また、擬人化や特撮ヒーロー作品の人気を受けて、台湾国防部と共同で展示を企画したと説明した。これにより、国防教育の強化や国軍のイメージ向上が図られているという。イベントは翌15日まで開催され、文化局はアニメ・漫画ファンの情熱と創作のエネルギーを感じることができるとして、来場を呼びかけていた。



軍のヘリコプターを背に記念撮影するコスプレイヤー (高雄市政府文化局提供)

Dec.15 米国から購入した M1A2T 戦車 第1陣が台湾に到着

米国から購入した M1A2T「エイブラムス」戦車の第1陣38両がこの日、台湾新北市の台北港に到着し、翌16日朝までに新竹県の陸軍装甲兵訓練指揮部に輸送が完了した。台湾は108両の M1A2T を購入しており、そのうち98両は北部の防衛を担う陸軍第3作戦区に配備される予定で、台湾の中核防衛力の強化を図る。M1A2Tは、米軍で使用されている M1A2 SEPv2 を基に台湾向けに改良された戦車で、2019年にトランプ政権下で台湾への売却が承認された。今後、25年に42両、26年に28両が台湾に到着する見通しで、第3作戦区に配備されない10両は訓練指揮部に所属する。



M1A2T 戦車 (写真提供: 中央社)

Dec.19 大阪万博記念デザインの交通 IC カード発売 台湾で20日から

台湾の交通 IC カード「iPass」(一卡通)の運営会社はこの日、2025年開催される大阪・関西万博を記念したデザインのカードを20日から販売すると発表した。この記念カードは、万博公式キャラクターのミャクミャクを含む4種類で、セブン-イレブンやファミリーマートなどで購入可能。価格は1枚200台湾元(約950円)。カード購入者は、旅行予約サイト「KKday」の一部関連商品が割引されるほか、iPassの一部モバイルアプリを使って日本の対象商店で買い物をする、最大30%分のポイント還元を受けられる。特典は2025年10月31日まで利用可能。



iPassは大阪・関西万博を記念したデザインのカードを販売する (写真提供: 中央社)

台湾新聞

《台湾新聞》為民營媒體,非政府發行刊物,以中立立場報導所有台灣和日本最新資訊。所有新聞報導和新聞照片,非本公司同意,嚴禁轉載刊登。《台灣新聞》同時提供報導資料銷售服務,如個人、團體有需要,敬請多多利用並洽《台灣新聞》。此外,個人、僑社團體或企業有採訪需求、活動企劃、平面設計和廣告刊登等媒體服務,歡迎直接洽詢《台灣新聞》。



「台湾新聞」は民間企業運営による媒体です。政府の刊行物ではありません。あくまでも中立の立場より、台湾と日本の各種の最新情報を報道しています。本紙に掲載しているすべての報道内容及び写真は、当社の承諾を得ない転載などは禁止します。一方、台湾新聞は報道資料の販売などのサービスを提供しています。必要な個人及び企業、団体の皆様は当社へお問合せください。また、イベント企画、デザイン、レイアウト、広告掲載等のご依頼がございましたら、ぜひ当社にお問合せください。「台湾新聞」社は以下の有料サービスも提供しております。ご利用ください。

《台湾新聞》提供以下付費服務：

- 企業廣告配合、僑社活動採訪
- 僑社團體網路部落格設計(包含台灣新聞採訪報導使用權費用)
- 採訪照片提供
- 企業網站設計服務
- 企業廣告、華僑會社イベント取材
- 華僑會社団体インターネットブログ設計(台灣新聞取材報道、使用費用権を含む)
- 取材写真提供
- 企業ホームページ設計サービス

欲合作企業、僑團請逕洽《台灣新聞》
03-5917-0045或info@taiwannews.jp

第3回WBSCプレミア12で台湾が初優勝



第3回WBSCプレミア12で台湾が初優勝 (写真提供: 中央社)

第3回WBSCプレミア12で11月24日、台湾が初の栄冠を手にした。決勝戦では今大会2戦2敗だった日本に3度目の直直で完勝し、初優勝を果たした。

決勝戦の先発は林昱珉 (21) 投手。ダイヤモンドボックス傘下に所属する左腕。前日のスーパーラウンドの日本戦の先発予定だったが、直前の試合で決勝進出が決定したためマウンドに上がった。初回、2回と三者凡退に抑え



陳傑憲選手 (写真提供: 中央社)

ると、3回には先頭の7番・源田 (西武) に自ら強襲する内野安打を浴び、一、二塁のピンチを防ぐ。さらに4回には先頭打者に四球を出すが無失点に抑えた。

試合中盤の5回、先頭の8番林家正 (27) が先発の戸郷から2球目の150キロストリート逆方向、右中間スタンドへ運ぶ1号ソロを打ち1-0と先制した。さらに1死、1番陳晨威 (30) が右前安打、2番林立はフルカウントから四球で出塁し、二塁となり、3番陳傑憲がフルカウントからの7球目の150キロストリートライトスタンドへ叩き込む2号3ランを打ち、この回2本のアーチで一挙4点を奪い4-0と突き放した。



林昱珉投手 (写真提供: 中央社)

林昱珉は4回で降板すると、5回からは元オリックス、西武でもプレーした張奕 (30) が2死から連打を浴びるも、小園を打ち取り無失点。さらに6回、7回も三者凡退に抑え、3イニングを2安打、3奪三振無失点に抑えた。

8回からは3番手としてDeNA、ロッテでプ

レーした陳冠宇 (34) が2つの三振を奪い三者凡退。9回は林凱威 (28) が先頭の辰己 (楽天) に安打を浴びるも、最後は栗原の一直、一塁走者が戻れず併殺打でゲームセット。プレミア12出場3度目、今大会日本との3試合目で初勝利の3度目の直直で栄冠を手にした。

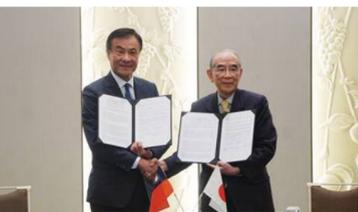
頼總統の計らいで台湾上空に空軍機で迎えも
台湾の頼清徳總統はこの日、野球の国際大会「プレミア12」の決勝で日本に勝利した台湾代表の栄誉を讃え、選手が台湾に戻る際の航空機を上空で空軍戦闘機が出迎えるよう手配したと明らかにした。フェイスブックに書き込んだ。
頼氏は優勝決定後、フェイスブックで「ありがとう台湾の英雄」と選手たちに謝意を表明。「素晴らしい守備」や「積極的な走塁」を称賛した上で「世界に台湾を賛嘆させた」と讃えた。

植物品種の審査に関する協力覚書締結



締結式の記念撮影

台湾の対日本窓口機関「台湾日本関係協会」の蘇嘉全会長と日本の対台湾窓口機関「公益財団法人日本台湾交流協会」の大橋光夫会長は12月19日、双方の管轄当局代表立ち会いのもとに「植物品種の審査に関する協力覚書」に署名した。「台湾と日本の交流は益々深化している」とし、植物品種の保護のために今後も協力を続ける。将来的に、植物品種試験結果報告書を相互で承認する事が可能になれば、品種登録の出願・審査に必要な時間と費用が節約され、両国の育成者に恩恵をもたらすとみられる。さらに農業分野の知的財産権に関する知識の推進が強化されることが見込まれる。



蘇嘉全会長と大橋光夫会長

を保護するため「品種の育成者権を活用することが極めて重要」と指摘した。「育成者権は国ごとに取得することが決められており、各国に品種登録 (育成者権の取得) を行うことが権利を保護する唯一の対策。品種登録の審査は、植物の生育期間や植物の形質調査と合わせて行われるため、出願から承認まで2~3年以上の年月がかかる」と説明。そのため育成者にとっては時間も費用もかかることが難題となっており「複数の国に出願する場合はさらに高額な費用がかかる」と指摘した。

台湾では目下、育成者による海外での品種登録出願を奨励している。2019年にはEUの専門機関、欧州植物品種庁 (CPVO) と、コショウランのDUS試験の結果を相互承認することで合

意、2021年にはベトナムと「植物品種の審査と保護に関する協力覚書」を締結している。こうした協力メカニズムが、2024年11月末までに台湾の優良な17品種が海外での育成者権取得に成功した成果として現れた格好でもある。さらに「出願にかかる時間とコストも大幅に削減できた」という。

一方、日本は台湾産農産物の輸出において「最も重要な市場の一つ」と見ている。農産物の交流を促進するため、両国は1年余りの交渉を経て、最終的に植物品種の審査に関する協力覚書を交わし、試験結果を相互承認することで合意に達した。同日開催された第48回日台貿易経済会議において覚書が交わされた。双方は引き続き協力し、植物品種の承認に関してさらに議論を進め、両国の農産物の国際競争力と国際市場における重要性を高める狙いだ。

農業部によると、2024年11月までに登録の出願があった台湾の品種は3,265件。そのうち花卉が2,735件 (84%) と最多で、次いで野菜が210件 (6%)、果樹が171件 (5%)、穀物が85件 (3%) と続き、その他が64件 (2%)。植物の育成者権は、育成者の権利・利益を保護すると共に、品種の開発・改良を促進し、消費者により多様な農産物の選択肢を提供することにつながる。輸出農産物の海外における品種登録を奨励している農業部は「台湾の優良品種を保護するために、より多くの国際協力の機会を模索し続け、台湾の農業競争力の向上に努めている」としている。

日本郵便九州支社4局と台湾中華郵政2局が姉妹提携



熊本県知事の木村敬が出席して見証

日本郵便と台湾中華郵政 (台北市) は10月29日、熊本と台湾の計六箇所の郵便局と「姉妹郵便局」の協定を結んだ。半導体世界最大手企業の台湾積体回路製造 (TSMC) が熊本県菊陽町に生産拠点として進出したことを受け、日台の交流が活発化していることを踏まえた



姉妹郵便局協定締結式の記念撮影見られる。姉妹郵便局の相互訪問などで連携を深める。

日本郵便は、海外郵便局と初めて姉妹協定を結ぶ。熊本県内は熊本城東 (熊本中央区)、菊陽久保田 (菊陽町)、西合志 (合志市)、室 (大津町) の4局。台湾側は台北市の2局。互

いに訪問するほか、地域産品の販売で協力する。11月には協定を記念したオリジナル切手を発行した。

熊本市の日本郵便九州支社 (熊本市中央区) で行われた締結式では、中華郵政の蔡文慶副総経理と日本郵便の西口彰人副社長が協定に署名した。木村敬熊本県知事及び台北駐福岡経済文化弁事処の陳銘俊処長が立ち会った。

中華郵政の蔡文慶副社長は「協定は中華郵政にとって従来にない取り組み。台北と熊本の友好の架け橋になることを期待している」と話した。

日本郵便九州支社の高橋博経営管理部長は、TSMCの進出により台湾から熊本への移住者が増えていることを念頭に「中華郵政とさまざまな取り組みを進め、台湾から熊本にきた人々の快適な生活を支援したい」と話した。

締結を記念して、台湾で使われている郵便ポストのオブジェが日本郵便九州支社前に設置された。また、九州支社前に設置する中華郵政のポストのオブジェも披露された。

台湾産養殖ハタ「龍虎ハタ」日本向け輸出が可能に



台湾産養殖ハタ「龍虎ハタ」(農業部提供)

日本の厚生労働省は10月30日、台湾産養殖ハタの「龍虎ハタ」とその加工品の輸入を認めることを関係各所に通知した。約8年に及ぶ日本側との協議と台湾が提出する科学的な試験による証拠、そして2023年末に行われた日本側による実地調査の結果を踏まえたもの。



台湾産養殖ハタ「龍虎ハタ」の日本向け輸出が可能(農業部提供)

台湾農業部によると、台湾産養殖ハタは主に「龍虎ハタ」(龍虎斑)、「タマカイ」(龍膽石斑)、「チャイロマルハタ」(青斑)の三種類で、そのうち「龍虎ハタ」が7割以上。かねてより「龍虎ハタ」の日本向け販売を試みる業者もいたが、親系統である野生のアカマガハラ

タが日本の規定では「シガテラ毒魚」とされていることから輸入が認められなかった。「シガテラ毒魚」とはその生息環境により天然毒のシガトキシンなどが蓄積している可能性のある魚を指す。

このため台湾政府は、2017年より国立台湾海洋大学に試験を依頼し「龍虎ハタ」がシガトキシンを含有していないことを実証。さらに農業部農業薬物試験所が日本の簡易型検査キットを使用して、稚魚、養殖、活魚輸送される成魚、販売店での商品のサンプルを検査した結果、いずれもシガトキシンは検出されず安全であることが確認された。これらの試験結果は日本側に提供された。

日本政府は2023年末に衛生と養殖担当の調査員を台湾に派遣して実地で視察を行った。また台湾からその後、トレーサビリティや養殖環境における今年第1四半期から第3四半期までの有毒藻類のモニタリングに関する資料を提供した結果、2024年10月30日、日本が台湾産養殖ハタの「龍虎ハ

民進党林右昌秘書長が自民党高市氏と会談 安全保障で強化



記念撮影

台湾与党民進党の林右昌秘書長は12月10日、自民党の高市早苗前経済安全保障担当相と東京・永田町の衆議院第一議員会館で会談し、国際情勢や安全保障について意見交換した。林氏は「台湾と日本は友達のようなだけでなく、家族のようなものである」と語り「台湾に関心を寄せる多くの日本の友人と共に努力することで、台日の交流や政党間の関係は安全保障を含めてさらに緊密になり、さらなる協力をしていけることだろう」と期待を寄せた。

林氏は冒頭、高市氏が長年、台湾の安全保障に関心を寄せ、台湾の人々を思いやる発言を多くしてきたことに頼清徳總統に代わって感謝の意を伝えた。また、「台湾有事は日本有事」との認識に触れ、「実はそれだけではない。台湾に何か起これば、それは世界有事だ。台湾と民主主義国家は必ずや共に努力しなければならない」と訴えた。その上で、高市氏の発言が多く日本人にこの問題を認識させるきっかけになったことに感謝した。

高市氏は民進党が引き続き政権運営を担うことにエールを送り「これはアジアの安全保障に関わる」と言及。仮に中国が台湾を統一し、中国の法律が台湾に適用されるようになれば、日本や米国にも工場を設置する半導体受託製造世界最大手、台湾積体回路製造



会談の様子

(TSMC) も中国の法律の下に置かれることになり、米国にとっても大きなリスクになるだろうと懸念を示した。

高市氏は2025年2月に台湾を訪問する意向を明らかにした。一方で、衆議院で三つの委員会を掛け持ちしているため、台湾にできるだけ長く滞在するためには「党の国会対策委員会の承認が必要」と説明した。台湾で訪れた場所を報道陣に尋ねられると、面会したい人物として頼總統や唐鳳前数位發展部長 (デジタル發展相) の名を挙げた。このほか台湾高雄市にある安倍晋三元首相の銅像も訪問したいと話した。

林氏は同7日から日本を訪問。9日には自民党の森山裕幹事長、中曾根康隆青年局長、国民民主党の古川元久代表代行、玉木雄一郎衆院議員、10日には日本維新の会の前原誠司共同代表、立憲民主党の野田佳彦代表、小川淳也幹事長らとも面会した。10日夜に帰国した。

李駐日代表 意見交換で「台湾の国際参加の支持」呼びかけ



意見交換会の記念撮影

台北駐日経済文化代表処の李逸洋代表は12月9日、東京都港区の同代表処で超党派議員連盟、日華議員懇談会 (日華懇) 所属の国会議員を招待して意見交換した。日華懇の長きにわたる台日関係への貢献及び4月の東部沖地震に対する日華懇と日本政府の支援などに感謝の意を表した上で「台湾の国際機関への有意義な参加を支持するよう」と呼びかけた。

李氏は、日華懇メンバーとの意見交換では

日本語で挨拶。2024年11月の野球の国際大会「プレミア12」で台湾が「チャイニーズタイペイ」名義での参加を余儀なくされたことに言及。中国は、1971年の国連総会で採択された国連における中国の代表権を巡る「アルバニア決議」を拡大解釈して国際社会で台湾を抑圧しようとしているとした上で「実際には同決議は台湾に言及していない」と指摘。「台湾と中国は互いに隷属していない」と訴えた。

日華懇からの参加者は、会長の古屋圭司衆院議員 (自民党) や顧問の山東昭子元参院議員 (自民党)、副会長の石井章参院議員 (日本維新の会)、副幹事長の有村治子参院議員 (自民党)、事務局長の木原稔衆院議員 (自民党)、源馬謙太郎衆院議員 (立憲民主党)、河野義博参院議員 (公明党)、田中健衆院議員 (国民民主党)、梅村みずほ参院議員 (日本維新の会) だった。

「台湾ランタンフェスティバル」 26年は嘉義県で27年は苗栗県



2026年台湾ランタンフェスティバル開催地に決まった嘉義県(写真提供:台湾観光署)
台湾交通部観光署は11月12日、毎年行われる台湾政府主催の台湾の旧正月を祝う伝統的イベント「ランタンフェスティバル」の開催地を発表した。2026年は台湾嘉義県、2027年は台湾苗栗県で開催される。

通部長が12月4日、承認した。
「2026台湾ランタンフェスティバル」の会期は、暫定だが3月3日(旧暦1月15日の元宵節)から同月15日までの13日間。会場は県内の特定区、国立故宮博物院南院、太子大道、県政府(県庁)が所在する県治特区と県庁前広場が予定されている。
「2027台湾ランタンフェスティバル」の会期は、これも暫定的だが2月20日(旧暦1月15日の元宵節)から3月7日までの16日間。会場は竹南、頭份運動公園および周辺地域が予定されている。
なお、第36回目「2025台湾ランタンフェスティバル」は、2025年2月12日から台湾桃園市で開催される。桃園市での開催は9年ぶり。会場はメインランタンが設置されるA18高鉄(台湾高速鉄道)桃園駅周辺とサブ会場とされるA19桃園体育園区駅の2か所。エリアは高鉄桃園駅前広場、亞洲矽谷物聯網(IOT)展庁(展示ホール)の戶外空間、元世界客家博覧会会場の周辺、楽天桃園野球場、青塘園、桃園市児童美術館、沿溪路周辺地域にまでの広範囲に及び、展示される魅力的なランタンに期待が寄せられる。

牡丹社事件から150年 屏東県牡丹郷と沖縄県宮古島市が交流協定



記念碑の前で記念写真(屏東県提供)

台湾屏東県牡丹郷(藩志郷長)と日本の沖縄県宮古島市(座喜味一幸市長)は11月7日、交流協定に関する覚書に調印した。藩郷長は、牡丹や高土集落に住む先住民族を率いた一行と共に宮古島市役所を訪れ、宮古島の座喜味一幸市長と署名した。今後は①教育・文化②観光・旅行③産業推進の3つの側面から交流を促進させる。一行はまた、2005年に牡丹郷が宮古島市に寄贈した「愛と平和の石像」の隣に記念碑を設置した。「牡丹社事件」から150周年の節目を迎え、台日双方の自治体が新たな関係構築に向けて歩みだした。



屏東県牡丹郷と沖縄県宮古島市が交流協定(屏東県提供)

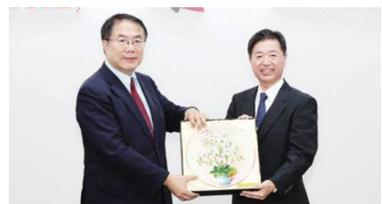
「牡丹社事件」とは、台湾に漂着した日本の宮古島島民がパンワン族に殺害された「八瑠湾事件」(日本での名称は宮古島島民遭難事件)(1871年)と、それをきっかけとして1874年に行われた日本軍による台湾出兵に至るまでの一連の歴史事件を指す。2024年は事件から150周年の節目となる。
牡丹郷の一行は12月4日から8日までの日程で沖縄県宮古島を訪れた。一行は同7日、カマム嶺公園にある「愛と平和の石像」に隣接して石像を設置し、その目的や理念について説明する記念碑を新たに設置した。また、パイワン族の祈願祭を開催し「宮古島市のすみずみまで平和が訪れ、より多くの人々が牡丹社事件の歴史に関心を寄せ、理解を深めてくれる」と祈願した。

屏東県原住民族による、この2つの自治体は過去の歴史を通して関係を構築した。2005年には牡丹郷の林傑西郷長が「牡丹社事件-愛と平和の世紀の大和解」と名付けた「平和の旅」を実践。宮古島市の伊志嶺亮市長(当時)が証人として立ち会う中、宮古島の被害者の末裔が牡丹郷の善意に理解を示し、被害者・加害者双方の末裔が握手、抱擁するという歴史的な和解を実現させた。
牡丹郷はこの和解を記念するため、「愛と平和の石像」を牡丹郷の「牡丹社事件記念公園」と宮古島市の「下地中学校」に設置し、愛と平和という普遍的価値観を伝えてきた。2023年、宮古島市は牡丹郷に敬意を示し、石像をカマム嶺公園に移設。石像の正面を牡丹郷に向けることで、日本側の善意と理解を示した。

台南市と水戸市が友好交流都市に 水戸を冠した道路新設へ



締結の様子(台南市提供)



記念品交換(台南市提供)



締結式の記念撮影(台南市提供)

台湾台南市(黄偉哲市長)と茨城県水戸市(高橋靖市長)は11月22日、同市政府永華市政センターで友好交流都市協定を締結した。高橋市長は、国際教育の充実化や観光交流の促進などを進め「台南市との友好関係をさらに深めたい」と述べた。
台南市には、日本統治時代に米軍の襲撃を受けて航空機で出撃したものの、撃墜さ

れて戦死した水戸出身の杉浦茂峰兵曹長(死後少尉に特進)を祭る飛虎將軍廟がある。それを縁に、両市の子供たちのスポーツ交流などが続けられてきた。台南市政府は「今後、歴史や文化、スポーツなどの分野で交流や協力を進めたい」としている。
黄市長は、今回の協定締結を記念して市内に新設される道路名を「水戸街」にする

事を明らかにした。
一方、高橋市長は「全力で交流を推進する」と強調。「マンゴーなど台南産農産物を学校給食の食材として利用拡大し、台南の小学校との交流を通じて交流の成果を次世代に波及させたい」と語った。

台湾最大規模の旅行博開幕 頼総統「観光立国」に意欲



頼清徳総統の挨拶(写真提供:総統府)
中央と地方政府が緊密な意思疎通を保ちながら「深みのある旅」、「特色ある旅」の質向上とPR強化を図り、観光産業を発展させたいとした。



台北国際トラベルフェア開幕式(写真提供:総統府)

台湾最大規模の旅行博「台北国際トラベルフェア」(ITF)が11月1日、台北市の南港展覽館1館で開催された。開幕式に出席した頼清徳総統は「政府は観光立国を政策ビジョンとし観光産業の振興を推進する」と意欲を示した。
32回目の開催となる2024年は、日本や

韓国、香港などを含む過去最多の111の国や地域、都市、企業、団体などが1500ブースを出展した。
頼総統は「観光は国家のソフトパワーであり堅実な外交力である」と強調。「官民が共に努力し、多分野・多地域で協力することが非常に重要」と語った。その上で、

また台湾交通部観光署(周永暉署長)が制作した新たなPR動画が、世界のメディアで放送を開始したと、より多くの外国人旅行者の訪台に期待を寄せた。周署長は「今年のITFが国内外の旅行業者の交流・協力促進プラットフォームとなり、台湾の豊かな特色と文化をより多くの海外からの旅行者に見てもらえることを信じている」と語った。

作家の瓊瑤さん死去 ミロドラマブーム巻き起こす



瓊瑤さんの親友が葬儀に参列する(写真提供:中央社)



瓊瑤の葬儀、陽明山で執り行われた(写真提供:中央社)
恋愛小説家として知られる作家の瓊瑤(けいよう、本名=陳喆)さんが12月4日、新北市淡水の自宅で死去した。86歳だった。自ら命を絶つていたところを発見された。瓊瑤さんの小説の多くが映画化やドラマ化され、メロドラマブームを巻き起こした。

作家の瓊瑤さん(写真提供:中央社)
なり、98年に放送された「還珠格格」(還珠姫〜プリンセスのつくりかた〜)は台湾だけでなく、華人圏全体で大きな人気を博した。
瓊瑤さんのフェイスブックには同4日午後、瓊瑤さんの最後の作品「当雪花飄落」とその朗読動画、メッセージが代理人によって投稿された。メッセージの中で瓊瑤さんは「年を取れば苦しい」「衰弱、退化、病氣、入退院、治療、不治」の時間を過ごさなければならないとし、人工呼吸器で生命を維持したり、寝たきりになったりする人を見てきたことに触れて「あんな『死』は嫌だ」と自身の思いをつづった。また「私の『死』の方法は生命の終点で行うものだ」と強調し、若者に対し、「軽率に命を諦めることは決してしないで」と呼びかけた。

1938年中国成都生まれ。49年に両親と共に台湾に移り、16歳で最初の短編小説を雑誌に発表した。24歳で初の長編小説「窗外」を完成させ、生涯で60作余りの小説を出版した。64年に「婉君表妹」や「啞女情深」が映画化されると「瓊瑤映画」ブームに火が付き、70年代には瓊瑤映画によってブリジット・リン(林青霞)ら数多くのスターを生み出した。
80年代にはドラマ化もされるように

奈良美智さんの巡回展が屏東で始まる 1万人超が予約



開幕イベントの記念撮影(写真提供:中央社)
方をしている人にさまざまな感想を抱いてもらえれば」と言及。「何度も絵を見に来てほしい」と期待した。



奈良美智さんの巡回展(写真提供:中央社)

台湾屏東県の屏東美術館で12月20日、美術家奈良美智さんの特別展が始まった。2023年から開始されている台湾巡回展の一環で、屏東は3カ所目。台湾を思っって描いたという絵画「Hazy Humid Day」や陶芸作品、デッサン、写真などが展示され

ている。周春米屏東県長によると「すでに1万人を超える参観予約が入っている」という。
奈良さんは同19日に同館で行われた開幕イベントに出席。巡回展が10年計画であることに触れ「毎回の展示で異なる見せ

主催団体の一つ、非政府組織(NGO)中華文化總會の李厚慶秘書長は、過去2回の展示も含めて奈良さんは毎回、展示作業に自ら立ち会っていると明かした。「奈良さんは謙虚で芸術を学ぶ学生と交流したり、現地の人々の暮らしを体験したりするなどそれぞれの土地を心から愛している」と台湾への愛に感謝した。屏東では台湾原住民(先住民)族の集落で行われた結婚式に参加したという。
展示は2025年5月25日まで。参観にはインターネットから予約が必要。



駐日代表處國慶酒會 麻生太郎前首相等政要各界踴躍出席



麻生太郎前首相致詞

【東京／採訪報導】台北駐日經濟文化代表處於10月8日在東京大倉飯店舉行「慶祝中華民國(台灣)113年國慶酒會」，日本前首相麻生太郎眾議員、「日本台灣交流協會」會長大橋光夫、「日華議員懇談會」會長古屋圭司眾議員以及參、眾兩院國會議員約50位親自出席。此外，台灣友邦瓜地馬拉、海地、巴拉圭、馬紹爾群島及理念相近國家駐日使節、日本主流媒體、各界要人及旅日僑胞等約千餘位賓客到場致賀。

駐日代表李逸洋在致詞中提到，台灣靠著多年來的努力，克服土地狹小等先天條件限制，目前已獲得半導體產業晶圓代工市占率達世界65%，IC設計及封裝測試居全球頂尖地位，在AI領域扮演重要角色等成就。此外，NVIDIA、Google等世界知名企業都在台灣設立最先進的研發中心，可見賴總統將打造臺灣成人工智慧科技島的願景已經在實現。

李逸洋也提到，中國採取圍台軍演等方式嚴重



駐日代表李逸洋致詞

威脅台灣生存，倘台灣遭中國封鎖，將對全球經濟帶來莫大打擊。感謝民主國家在各國際場域發表聲明，重申台海和平穩定對世界和平不可或缺，並支持台灣有意義參與國際組織。另美英法德等國派遣軍艦航行通過台灣海峽，宣示國際航運有自由通行權，以實際行動支持台灣。台灣將繼續與日美等民主國家在經濟、科技、安全等領域合作，共同撐起賴總統提倡的「民主保護傘」，讓民主國家免於威權擴張的侵略。

麻生太郎前首相表示，自民黨青年局一直是對台灣重要窗口之一，而多位擔任過局長的議員，後來都成為首相，包括我和安倍前首相、岸田前首相都是，至今也仍與台灣保持友好關係，雖然沒有日台沒有邦交關係，但雙方一直維持堅定的友好關係，希望讓更多人知道，也讓大家知道台灣的重要、中華民國的重要，特別是台灣海峽的安定，對日本存在也有很大的影響，所以我們要持續維護台海和平，並維繫台日友好關係。



自民黨青年局與李逸洋駐日代表合影

大橋光夫會長表示，日台交流協會會與日本政府建立緊密合作，與台灣深化友好關係，而台灣也於今年5月選出賴清德總統，開啟新的政權，台日共享自由民主等價值觀，相信賴總統領導下，台日關係能有進一步發展。日本和台灣無法動搖的友情和信賴，我相信如果世界上能效仿台灣與日本的關係，世界上就不會有戰爭發生，希望大家可以讓世界看到日本和台灣的友情，一起深化雙方的關係。

古屋圭司會長表示，台日在災害發生時皆能在第一時間伸出援手，象徵彼此友好關係。台日國際外交相當重要，日華懇會持續傳承安倍前首相的遺志，並用台語提到「台灣有事，日本有事」表達台灣的重要，但因為雙十國慶前日本眾議院解散，今年將改由山東昭子參議員率團訪台參加國慶慶典，表達祝賀。

國慶晚會在日本中華聯合總會會長羅鴻健帶領領乾杯後正式開始，會場除播放介紹台灣政經發展及台日交流之影片外，也準備慶祝國慶的冰雕，另播放外交部製作之國慶影片。酒會會場另準備豆花等台灣特色小吃簡餐供賓客享用，現場的交流氣氛也非常熱烈。

大阪辦事處國慶酒會 500多人齊聚場面盛大



洪處長致詞

【大阪／綜合報導】駐大阪辦事處於10月4日舉辦「慶祝中華民國(台灣)113年國慶酒會」，由洪英傑處長主持，包括龜井亞紀子眾議員等政、官、產、學、僑各界友人約500多人出席，場面盛大。

洪英傑處長在致詞中提到，台灣與日本在地震、颱風等自然災害發生時患難互助，展現兩國深厚友誼。近年在半導體、AI等高科技產業合作密切，共同強化台日經濟安全保障連結，尤其台灣生產全世界超過九成先進晶片，是世界半導體供應鏈重要角色。台灣海峽是國際航行之重要水道，倘若遭遇封鎖，不僅只有台灣，包含日本、韓國等海上運輸均會中斷，危及各國國家利益。

洪處長也提到，台灣2,300萬人仍被排除在聯合國體系之外，中國惡意扭曲聯合國第2758號決



大阪中華學校國樂社表演望春風等台灣民謠

議內容，該決議僅決定中國在聯合國代表權的歸屬，並未提及台灣。台灣需要世界，世界也需要台灣，台灣願意也有能力對國際社會做出貢獻，願與日本等理念相近國家共同守護區域和平與安全。

龜井亞紀子眾議員表示，今天與父親親根藤日華親善協會會長龜井久與前國土廳長官一同出席晚會，父女兩代傳承台日真摯友誼，將持續推動與台灣之交流，強化台日友好。

活動現場播放國慶文宣短片，並設置台灣觀光攤位，由吉祥物台灣黑熊與電音三太子歡迎貴賓，宴會以「台灣夜市」為主題，提供珍珠奶茶、大腸包小腸、新竹米粉、米糕等台灣特色料理，並邀請「大阪中華學校國樂社」表演望春風等台灣傳統民謠。

札幌辦事處舉辦慶祝 中華民國113年國慶酒會



粘處長與三橋副知事、石川副市長、飯島議長合影

【札幌／綜合報導】札幌辦事處為慶祝中華民國113年國慶，10月4日晚間在札幌市內大飯店舉行慶祝酒會，由粘信士處長夫婦主持，邀請參眾議員及其代理、北海道知事及議長、札幌市長及議長、各市町首長及議長、友台議連會長、日台親善協會會長、經濟界、學界、媒體界代表、旅北僑胞及留學生近270人與會，共同慶祝中華民國生日。

粘處長夫婦迎賓後，正式開始酒會，全體齊唱台日兩國國歌，粘處長致詞感謝與會貴賓在雨中不辭辛勞自遠道而來，另對北海道各界素來支持駐處及與台灣交流表達謝意；另指出，今年1月舉行總統大選，520賴總統及蕭副總統正式就職，524駐處舉行慶祝總統就職茶會，感謝各界90位代表與會；本年4月花蓮大地震後，承蒙北海道各界120位政要予台慰問，義援金近2千萬日圓；今年1月石川能登大地震後，台灣政府贈6千萬日圓，民間熱心募款達25億日圓對日本賑災，此舉說明台日相互扶持，彼此情誼深厚。

粘信士處長也表示，駐處為縮短北海道和台灣距離，而積極創造兩地交流接點，至此已媒合17



粘處長頒發台日城市締盟及成立友台議連11位首長、議長感謝狀

對台日城市締盟，成立9個友台議連及第24個日台親善協會；去年道內有7所高中，超過750名師生赴台修學旅行，將有助台日下一世代相互理解；疫後近年來北台灣觀光客人數已創下新高，目前有5家航空直飛北海道台北航線，歡迎各界多赴台灣觀光旅遊。

副知事三橋剛、札幌市副市長石川敏也繼代讀知事及市長賀詞，北海道議會當原議長、札幌市議會飯島弘之議長亦分致賀詞；渠等均讚許疫後北海道與台灣在各領域多有互動，尤其台日城鄉締盟有助增進兩地經貿及人員往來；當日適逢日本新任首相在眾參兩院施政演說，轄區原本預定前來參加的國會議員大多無法趕到；日台親善協會連合會會長西條文雪代表全體日台親善團體致賀詞並頒發乾杯。

隨後，粘處長頒發感謝狀致謝台日城鄉締盟及成立友台議連11位首長及議長，會場並播放本年國慶「民主和平繁榮新台灣」文宣影片，另邀請女高音歌手一鐵女士獻唱望春風等台日著名歌曲，全程莊嚴隆重；最後由台僑協會會長陳省仁致閉會詞，酒會活動圓滿結束。

橫濱辦事處國慶酒會 各界出席踴躍場面盛大



張淑玲處長致詞

【橫濱／採訪報導】台北駐日經濟文化代表處橫濱分處於10月3日舉辦中華民國(台灣)113年國慶酒會，今年活動包含日本政商界人士與旅居關東地區的僑領僑胞、日本友台人士共300多人出席，活動中也特別準備切台日友好的蛋糕，場面非常盛大。

張淑玲處長首先感謝在0403花蓮地震時，神奈川、靜岡地區的國會議員、地方首長、友台組織都第一時間向駐處表達關心，同時像神奈川縣知事黑岩等首長或友台人士都發起募款活動，可以說台灣和日本有著最真摯的友情。此外近年在神奈川、靜岡各地都有許多與台灣相關的活動，同時也有不少日本地方城市與台灣的地方城市締結



各國國會議員致詞祝賀

友好城市，以及鐵道締結姊妹鐵道，或是成立友台議員聯盟等。另在觀光方面台灣訪日人數去年已經超過420萬人次，台灣人的消費額也是第一名。經濟方面因為台積電熊本廠交流越來越密切，在其他產業上不少台灣企業都與日本保持密切合作，最後也希望中華民國台灣和日本的關係越來越好。

同時此次也有包含眾議員田中和德、木原稔、金子恭之等10位日本國會議員出席，眾議員田中和德代表致詞，他表示，相信在座的各位都認同，台灣包括半導體在內各產業在世界都名列前茅，與日本也有歷史淵源，我們應該深化與台灣的關係，今後我會和在座的議員和大家一同努



田中和德眾議員致詞

力，努力深化日本和台灣關係，並與埋灣一起守護世界的和平。

此外，神奈川、靜岡地區的15位市町町長，以及15位議連會長、議長也都專程出席，並輪流上台祝賀113年國慶，表示都想與台灣進一步交流，深化雙方的關係等，還有直呼最喜歡的國家是台灣。最後則由日本中華聯合總會羅鴻健與僑胞、韓國駐橫濱領事館總領事金玉彩帶領大家乾杯，宣告酒會正式開始。

此次國慶酒會中，在會場外也特別準備台灣的觀光文宣，現場供參加者自由索取，此外在料理安排上，也特別準備各式各樣的台灣佳餚，張處長也在會中表示，因為台灣水果遭中國禁運時，日本提供許多援助，所以台灣也允許福島食品進口，我們也要支持日本水產，所以會場中也特別使用日本水產製作的料理。另外安排台灣歌曲演出，也邀請11月將在橫濱公演的台灣京劇「孫悟空」演出，獲得滿堂喝采，也讓活動現場充滿濃濃的台灣味。

福岡辦事處113年國慶晚宴 各界賓客齊聚歡慶



陳處長與來賓等合影留念

【福岡／綜合報導】福岡辦事處於10月4日晚間在索拉利亞飯店隆重舉辦中華民國113年國慶酒會及全國各縣市美食特產展，由陳銘俊處長主持，來賓包括日本參眾議員、九州及山口地區政、商、僑、學界領袖等約400多人，場面隆重盛大。尤其本年有12位國會議員在東京出席完新任首相國政說明會後，直接趕赴福岡與會，盛情感人；另熊本、宮崎兩位知事首度親身蒞會祝賀，更顯台日九國緊密友好之情誼。而外貿協會黃志芳董事長、台南市葉澤山副市長、玉山銀行黃男洲董事長亦專程前來共襄盛舉，一同見證於今年台積電熊本廠正式營運後，九州地區所掀起的「台灣熱」風潮。

陳處長致詞表示，今年1月台灣順利完成第8次總統、副總統直接選舉，為台灣的民主憲政再締新猷。台灣成熟穩健的民主韌性獲得國際高度肯定，逾100個國家、1,600位國際政要表達祝賀，以具體行動支持民主台灣。這也再次彰顯中華民國(台灣)是民主自由國家，與專制共產中國互不



陳銘俊處長(中)與來賓們一同切蛋糕慶祝國慶

隸屬的客觀事實。陳處長續稱，為維護台海和平穩定及區域繁榮發展，賴總統提出「和平四大支柱行動方案」，透過強化國防力量、建構經濟安全、強化與民主國家夥伴關係及發展穩定而有原則的兩岸關係領導能力，讓台灣成為促進民主、和平、繁榮發展的關鍵力量。部長將推動「價值外交」、「同盟外交」及「經貿外交」所共同建構的「總外交」，在互惠互助的信賴友好基礎上，持續深化與友邦及理念相近國家合作夥伴關係，持續發揮「台灣能幫忙」(Taiwan can help)的良善力量，並展現「台灣能領導」(Taiwan can lead)的國際角色。

近來中國大陸宣布針對特定果園恢復進口台灣文旦且事，陳處長表示，中國將經貿當成統戰工具和政治武器，嚴重破壞國際貿易秩序，更不利於建立台海往來互信。陳處長特別手持麻豆紅文旦稱，台南柚中有「紅寶石」美名的紅文旦，因紅寶石般閃爍動人，果肉鮮紅細嫩多汁，產量相



陳銘俊處長致詞

當稀少。這如同台灣的民主成果帶給國際社會的珍貴意義，台灣地方雖小，但作為民主象徵卻閃耀無比。台灣的文旦也是「民主文旦」。

陳處長說明，本人來福岡赴任已逾3年，深刻體會台灣與九州間的交流日益密切，自2023年迄今，台九間地方締盟14件、民間簽訂合作備忘錄7件、航線復航及增班5城市、5處地方議會間成立友好協議，更有我4家代表性銀行在九州設立據點等，交流成長速度空前。期待未來台九成為科技、農商、產業、觀光等全方位的夥伴關係。

陳處長強調，台日兩國地緣相近，歷史淵源更使兩國長久累積特殊友好情誼，每逢遭遇重大天災時，總是第一時間相互表達關懷與最大支持。另台日正共同面臨中國軍事上的重大挑戰與威脅，可謂是真正共存共榮的命運共同體。台灣珍惜日本一路相挺的溫暖情誼，期盼日本各界持續意識到台海安全攸關自身國防安全之事實，共同為國際社會作出貢獻。

為積極協助國內推廣觀光及優質特產品，本年持續在會場外設置台灣物產展區，吸引現場來賓高度興趣，反應非常熱烈。展示品由台灣各縣市地方政府及工商企業等空運寄送，品項玲瓏滿目，多達50多種農特產，台南市更於會場設置文旦特區，提供來賓品嚐。另現場擺放觀光文宣品，充滿濃濃台灣味。福岡辦事處將特產品以伴手禮分送每位貴賓，國慶酒會在歡樂氣氛中圓滿落幕。

那霸辦事處113年國慶酒會 王瑞豐處長籲加強台灣與沖繩和平與經濟合作



紀念合影

【那霸／綜合報導】台北駐日經濟文化代表處沖繩分處於10月4日在沖繩嘉新酒店舉辦113年國慶酒會，近160名沖繩政、商、僑界及學界等領域的人士與會，王瑞豐處長致詞表示台灣絕不會屈服於中共連續不斷的軍演恐嚇，也呼籲加強台灣與沖繩縣之間在和平與經濟振興方面的合作，世界和平的目標應如同巴黎奧運選手不論出身，而以和平的方式競爭，並強調台灣加入聯合國等國際架構的重要性。王處長不時於演講中穿插「沖繩方言」活躍氣氛，現場掌聲如雷好評如潮。

沖繩縣知事王城丹尼、沖繩台灣親善沖繩縣議員連盟會長中川京貴、中協協會會長金城克也等貴賓亦於致詞時表示，自新冠肺炎後沖繩的外國觀光客人數中以台灣籍為最大宗，沖繩各界應重視更加加強與台灣的友好合作，以振興雙方

經濟。酒會中提供多種台灣風味小吃如炒米粉、滷肉飯、牛肉麵等，享譽世界的噶瑪蘭威士忌供來賓淺嚐，希望藉美食美酒加深對台灣的印象與增進好感，最後由琉球華僑總會會長東鄉龍致閉幕詞，感謝各界來賓參與盛會。



王瑞豐處長致詞

臺師大校友聯誼會盛大舉行 日籍及在日校友共聚一堂見證母校發展



紀念合影

【大阪／綜合報導】國立臺灣師範大學於10月28日在日本大阪舉辦「大阪校友聯誼會」，由校長吳正己親自帶領師長參與，吸引近20位在日校友共襄盛舉，選出歷史系63級校友、日本欣華會會長李忠儒會長擔任首屆會長。吳正己校長在聚會中向校友們介紹母校最新發展，臺師大已是綜合型大學，成立跨域科技產業創新學院，也成為教育部支持的雙語大學重點培育學校，讓在日校友更深入了解母校的成就與願景。

活動在大阪中華料理餐廳中舉行，校友貴賓雲集，現場氣氛熱烈，溫馨融洽，歡聚一堂分享彼此的生活與成就，包括日本大阪大學人文研究科林初梅教授、神戶博愛醫院前行政主管李辛祥事務長、大阪中華學校連茂雄理事長、參議院梅村(Mizuho)議員、奈良大學文學部地理系古關喜之助副教授、Vireant株式會社黃建霖總經理等校友到場，增添光彩。

校友們交流情誼之外，也推選日本東亞股份有限公司李忠儒董事長擔任首屆理事長，他經歷史後赴日本留學，1992年在日本創辦東亞食品工業公司，如今已是跨國集團，專注於食品製造和銷售，尤其是日式佐料食品。臺史碩107級校友、Velodash股份有限公司關口大樹總經理，擔任聯誼會副理事長，地理系81級校友、Echo Mandarin(艾可中文)創辦人解麗琪，以及衛教系103級校友、日本Kyndryl科技公司張昭誼工程師擔任秘書長，為校友間的聯繫合作增添新動力。

吳正己校長此行帶領國際事務處劉以德國際長、科技與工程學院鄭慶民院長、進修推廣學院宋麗伶副院長、公共事務中心康敏平主任、國際臺灣學研究中心總計畫主持人林中力教授、物理學系劉祥麟教授，與來自不同年代、各系所的校友相聚一堂。

吳正己校長致詞表示，臺師大致力於創新教學、提升研究成果與強化國際連結，我們也一直努力讓校友們為母校感到驕傲。例如獲得教育部高深研計畫第二期補助每年逾新台幣3.2億元，補助金額成長1億元，更透過玉山學者計畫延攬國際級頂尖專家，目前已有16位加入教學陣容或指導研究團隊。

吳校長還說，臺師大獲教育部補助雙語大學重點培育學校計畫，大力推動雙語教學，可望增加招收外籍生及校園更國際化。另外，去年成立的產創學院，由企業出資和國家發展基金補助各8000萬元，特別針對AI跨域應用與綠能科技，與產業界緊密合作，尋求創新解決方案。



森田節(左一)大吳正己校長(左二)梅村參議員(右二)高橋謙司(右一)



吳正己校長(右)致贈百年校慶紀念酒予大阪聯誼會理事長李忠儒校友

康敏平主任分享臺師大近年於學術研究、國際合作與教學創新上的重大進展，並展示校園的變遷，喚起校友們對母校的美好回憶。康主任特別感謝李忠儒會長對大阪校友會的大力支持，並強調校友的向心力是師大的寶貴資產，希望未來在各地校友的共同努力下，臺師大能夠更具國際化，持續推動校友網絡建設。

聯誼會活動中，不乏特意從東京、奈良等地前來的校友，場面溫馨感人，其中衛教系58級校友、高齡92歲的許彩銀學姐，搭車兩小時趕來會場，一定要見到校長和師長，直到晚上九點才依依不捨離開趕車。此外梅村(Mizuho)參議員、森田節、高橋謙司等3位是國語教學中心校友，他們從立命館大學畢業後，相約報名一起來臺師大學習華語，還在臺灣待了至少五週時間，非常喜歡臺灣的人情味及風光。

每位校友分享在臺灣求學點滴，重溫當年難忘時光，也回憶起臺灣對他們人生的深刻影響。無論是母校教學，還是臺灣多元文化氛圍，都成為他們成長的養分。大家彼此分享著故事，彷彿又回到熟悉的校園。校友們的心緊緊相連，對母校的深情及對台灣的情感在此刻凝聚，展現出強大的團結力量。

李忠儒亦在致詞中對此次活動的成功舉辦表示欣喜，承諾將繼續協助增進在日校友的情感交流，加強母校與校友的聯繫。他表示，希望藉由此類活動加深校友們對母校的認同感，並期待在日校友群體的成長茁壯。

臺師大此次大阪校友聯誼會，也為校友搭建了相互交流與了解母校新進展的橋樑，未來將持續深化與海外校友的聯繫，共同攜手推動母校的長足發展。

世華日本關西分會受邀參與高野山世界遺產登錄 20週年盛大紀念活動讓世界看見台灣女力



林伊曼會長率世華關西分會參與高野山國際交流活動

【和歌山／採訪報導】位於和歌山縣的世界遺產名勝「高野山」9月28日舉辦登錄世界遺產20週年盛大紀念活動，該活動結合音樂、藝術、國際文化交流及創意服裝秀，內容豐富精彩，有超過500名各界政要及國際貴賓參加。世界華人工商婦女會協會日本關西分會會長林伊曼亦受邀以台灣代表身分參加活動，擔任開幕致詞嘉賓，以及「世界和平宣言」的演講人之一。

開幕式還有精彩的創意和服裝秀，日台混血的設計師郭千壽(中嶋千壽)發揮巧思，將深藏在衣櫃裡的舊衣服重新設計為款式新穎的禮服，相當符合SDGs環保再利用率概念。讓各國來賓看見台灣的多元文化和傑出女力，是一



林伊曼會長應邀出席開幕活動並上台致詞

場成功的國際文化交流活動。現場貴賓包括眾議院議員林佑美、和歌山議員遠藤富士雄、辻本太一、藤本真利子、東方貴子、高野町長平野嘉也、周參見町長岩田勉、世華日本關西分會林伊曼、和歌山景觀光局長今井善人等人。

會長林伊曼受邀開幕致詞時表示，很榮幸參與此次活動，世界華人工商婦女會協會創立30週年，在全世界有89個分會，宗旨是「心懷世界、掌握脈動、建立網絡、發展經濟」，並通過公益和文化活動加強各國之間的聯繫，促進台日的友好關係與文化交流。林伊曼亦代表眾議院議員陳天隆宣讀賀電，期待日台關係能更進一步發展及交流。

晚餐會在和歌山的名店「角濱胡麻豆腐店」舉

行，世華日本關西分會特別採購許多花蓮特產與各國來賓分享並介紹，日方也準備許多能登半島的特產，鼓勵大家透過購買災區特產品，為震災區加油打氣！也祝福花蓮和能登半島能早日恢復正常生活。

當天晚上還有奉納音樂表演，集聲光、音樂、藝術，以世界遺產高野山古跡壇上迦藍根本大塔(弘法大師的修禪道場)為舞台背景，在夢幻的燈光下，將傳統的三味線結合現代的薩克斯風，進行一場音樂競演饗宴。

在津輕三味線奏者吉田健一和薩克斯風奏者Nazuki的激昂樂聲中，新銳畫家荒川麗不用任何畫筆，而以指繪方式配合音樂起伏開始作畫，當樂聲嘎然而止，一條栩栩如生的飛龍誕生了。這種結合異文化元素的藝術創作，感動了在座的國際貴賓。

晚會中邀請了三個國家台、日、美的代表，以「和平」為主題發表和平宣言。林伊曼會長代表台灣發表和平演說。她表示和平除了不要戰爭，它更象徵著尊重、理解與包容。無論是國家間的衝突，還是社會內部的分歧，唯有通過理解、對話與合作，我們才能找到通向和平的道路。和平的基石來自於每一個人的內心。只有當每個人都擁有和平的心靈，我們才能真正建設一個和平的世界。

林伊曼會長表示，本次活動藉由文化互動及美食分享為臺日民間交流留下紀錄，希望未來兩國能經由音樂、觀光及其他更多元的方式合作，促成日台關係進一步發展。

京都華僑總會忘年會 盼日台年輕世代延續友誼



紀念合影

【京都／採訪報導】中華民國(台灣)留日京都華僑總會於12月4日，在四條烏丸的燒肉店「肉料理 陽氣」舉辦了2024年忘年會。京都華僑總會會長魏禧之表示，感謝今年雙十國慶在各方參與下圓滿成功，並獲得各界高度評價。未來，京都華僑總會除了持續推動日台關係發展的會務外，也將深化目前已開辦二十年的中文教室，增加針對前往台灣留學的教學及輔導內容，期望讓更多日台年輕世代延續雙方



魏禧之會長致詞

的友誼。活動當天，台北駐大阪經濟文化辦事處洪英傑處長、京都府議會日台親善懇話會能勢昌博副會長、京都市議會日台親善聯盟寺田一博會長及京都日台親善協會加藤一樹副會長，均偕同幹部一同出席，場面熱鬧非凡。

台北駐大阪經濟文化辦事處洪英傑處長表示，感謝京都華僑總會在過去一年間，對來日旅遊的國人於京都遭遇困難時提供即時協助及翻譯服



洪英傑處長致詞

務，並讚賞其透過中文教室推廣我國繁體字文化的貢獻。京都府議會日台親善懇話會能勢昌博副會長提到，石破茂首相在當選前便多次訪台，對台灣懷有深厚情感，並期望今後能在各領域延續這份珍貴的情誼。

京都市議會日台親善聯盟寺田一博會長表示，今年適逢台南建城400年，兩地舉辦了許多交流活動，希望未來在各方努力下，能促成更多不同形式的文化與經濟交流。京都日台親善協會加藤一樹副會長在領導乾杯時表示，其所屬的嵐山商店街長期以來深受台灣觀光客喜愛，期望嵐山未來能成為日台交流的重要據點。

整場忘年會在熱鬧歡愉的氛圍中進行，大家享用美味的和牛燒肉，共同為2024年畫下完美的句點。

北九州台灣同鄉聯誼會會長交接 原田和昭接任薪火傳承



活動紀念合影

【北九州／綜合報導】北九州台灣同鄉聯誼會前身為北九州華僑會，但逐漸減少活動，於2008年再由庄野寬榮醫師呼籲創立本會，當時成立大會共有34位會員，努力不懈的經營了16年。2024年1月1日由原田和昭接任第二屆會長，於11月16日舉辦親視聯誼大會。他希望以吸引更多週遭的台灣人加入，並將聯誼會薪火傳承。讓在海外打拼



原田和昭會長

的台灣人能互相照應，過年佳節時大家相聚聯繫感情，享受團圓氣氛。原田和昭會長受訪時表示，很感謝大家的推舉，也很感動這次的親視大會和成立時一樣有34位成員參加，也再次感謝大家在百忙之中參加出席，目前北九州台灣同鄉聯誼會成員是醫療業、餐飲業，或是自己創業等，且現在已經有僑胞第四代的會員，而且有五對是國際結婚。

橫濱台灣同鄉會交接 施梨鵬接任新會長



施梨鵬新會長致詞



余玉隆前會長致詞

【橫濱／綜合報導】橫濱台灣同鄉會於11月23日舉行新舊會長交接暨年度大會，由前會長余玉隆交接給新會長施梨鵬，橫濱辦事處處長張淑玲、立法委員羅明才、橫濱華僑總會會長許維庚、僑務委員洪益芬、日本中華聯合總會會長羅鴻健、日本林氏宗親總會理事長林隆裕、日本橫濱台灣商會會長河道道、日華親善橫濱市會議員聯盟會長橫山正人、橫濱市議會副議長福島直子、橫濱地區僑領及該會會員等約200人與會。

施梨鵬新會長表示，該會1953年以旅日台僑親睦為目的而成立，免費提供華僑子弟課後安親、課業輔導以提升學力，未來將致力舉辦各項聯誼活動凝聚旅日僑胞向心力，持續深化台日友好關係。余玉隆前會長表示，感謝在他擔任3期6年的任期中，本處及該會幹部及理監事協助推動會務，今後將繼續協助會長推動台日交流。

張淑玲處長致詞表示，感謝橫濱台灣同鄉會成立71年以來，致力培育華僑子弟、每年定期舉辦新年會、總會及各項聯誼活動凝聚旅日僑胞向心力。今年4月花蓮地震發生後，余前會長及該會



張淑玲處長致詞



橫濱台灣同鄉會交接

幹部募款協助賑災，日華親善橫濱市會議員聯盟橫山會長等友我議員聯盟及親善協會等亦募款協助賑災。台日間每當發生重大災害時，均會互伸援手協助救災，彰顯患難見真情。

北陸台灣商工會忘年會 凝聚僑情促進台日交流



紀念合影

【富山／綜合報導】日本北陸台灣商工會於11月16日舉行忘年會，同時邀請到顧問周東寬醫師舉行醫療講座，活動吸引許多北陸地區的僑胞和日本友人參加，周東寬與北陸台灣商工會成員也帶來精彩演出，島田惠會長也感謝大家過去一年來的支持，特別是在年初的能登半島地震，讓台灣的愛心能送往災區。



周東寬醫師帶來專業的演講和精彩演出

此次忘年會先由周東寬醫師帶來專業的醫療演講，感謝有這樣的機會聽到這樣優質的演講，此外周東寬也展現出個人魅力，帶來歌舞表演，也獲得不少好評，北陸台灣商工會的成員也加入演出，帶來民族舞蹈、沖繩民謠、山地舞以及鋼琴小提琴合奏等節，一同炒熱現場氣氛。會長島田惠受訪時表示，隨著一年即將到尾

聲，北陸地區幅員廣闊，平時會員們鮮少有相聚的機會，因此舉辦忘年會讓僑胞們可以交流、聯絡感情，同時也邀請不少日本友人參加，促成台日之間的民間交流等，也很感謝過去一年來大家對北陸台灣商工會的支持，特別是今年年初的能登半島地震，很多善心人士第一時間出錢出力協助北陸台灣商工會募集物資送往災區，讓來自台灣的愛心溫暖受災戶。

此外島田會長也特別感謝大阪辦事處、台灣新聞社、中華航空及長榮航空的支持與協助，讓這次的忘年會能順利舉行，島田會長說，今後北陸台灣商工會也會持續努力，凝聚北陸地區僑胞，並作為北陸與台灣交流橋樑，協助政府促進雙方民間友好關係，也請大家繼續給予支持。

大阪辦事處僑務秘書黃麗婷也出席忘年會，並感謝北陸台灣商工會支持政府、在海外為台灣發聲。今年忘年會也改由讓出席者攜帶料理參加，每個人都準備拿手料理，一時間山珍海味擺滿桌，反而讓大家不知道該從哪道料理開始品嚐。



東京台灣商工會講座暨理監事會 探討台灣發展與永住歸化



紀念合影



張素娥會長致詞



林春壽組長致詞

【東京／採訪報導】東京台灣商工會於10月26日舉行講座和第五次理監事會議，邀請駐日代表處科技組組長鄒幼涵和行政書士黃駿升理事來講解台灣定位發展及永住和歸化的規定等，吸引不少人參加，理監事會議中也成立下屆會長選舉的選務委員會，以及修改章程等。

鄒幼涵組長以台灣和日本定位發展為主題，用台日雙方的指標和數據說明發展狀況，特別介紹到指標是如何選取等，讓任何資料可以簡單明瞭，並用指標去說明台日韓美等國之間的差異和競爭力，以及經濟成長和通貨膨脹的問題等。同時鄒組長也介紹國科會的組織和與日本合作的方案等。

黃駿升理事則以永住及歸化的申請要件手續簡介為主題，介紹台灣人在想長期定居時，可以申

辦的資格和條件及手續等，其中像是永住可以自自由工作，享受較好的貸款利率等，但像是有良好的年金繳納和無犯罪紀錄等，此外有高度人才簽證者，較短的時間就可以申請永住簽證。歸化則是有日本的選舉權、戶籍，且在日本居住5年即可以申請歸化，此外像與日本配偶結婚等，就可以縮短申請歸化所需的居住時間，不過不論是永住或是歸化，因為目前申請的案件很多，都需要到等上一一年到一年半的時間，以及今年日本眾議院也決定對於未繳稅等問題的永住者將取消資格。

張素娥會長表示，很感謝理監事們踴躍出席參加講座和理監事會，這次的講座內容包含台日未來的發展和簽證的申請等，相信對很多理監事都有幫助，同時這也是第五次理監事會，很感謝



李克順會長致詞



李會長準備各式各樣客家料理

【東京／採訪報導】東京客家崇正公會於10月30日舉行第一回客家美食活動，由會長李克順準備各式各樣的傳統客家美食，供參與的僑胞們享用，活動吸引不少人參加，除了準備和介紹美食外，還特別準備客家花布等裝飾，讓更多人能認識到客家文化。

李克順會長表示，他從13歲就開始跟父親學做客家料理，所以有自信料理的味道

東京客家崇正公會美食活動 透過料理宣傳客家文化



紀念合影

不會輸給其他人，且是最傳統的客家料理，希望可以藉由活動讓大家品嚐看看客家人的古早味。同時李會長也介紹今天準備的料理等，像是紅糟雞、豬腳、菜包、麻糬、客家小炒等。

駐日代表處僑務組宋惠芸副組長也出席此次活動，她表示，來到這有像回到台灣參加鄉里活動的親切感，台灣除了閩南和原住民文化，重要的還有客家文化，像是客家料理、花布等都是豐富的客家文化，希望東京崇正客家公會

能持續推廣客家文化，並與日本友人深層的交流。

此次是東京客家崇正公會首度舉辦美食活動，今年6月接任的李克順會長過去曾是新著名台灣料理「青葉」的老闆，因此這次由他大展身手準備了各式各樣的客家料理，精湛的手藝也獲得在座僑胞們的稱讚，同時東京崇正客家公會也邀請大家明年3月參加客家大會，一同為宣傳客家文化努力。

周東寬醫生新書發表 揭示四個健康荷爾蒙的奧秘



周東寬醫生



周東寬醫生與其子周東佑樹院長

【東京／採訪報導】醫療法人健身會理事長周東寬醫生於12月1日舉辦新書發表活動，此次周東寬醫生出版「四個健康荷爾蒙」，教導大家如何善用這些荷爾蒙來幫助自己維持身體健康，新書發表會吸引不少旅日僑領、僑胞、日本各界人士出席，場面非常盛大。

周東寬表示，出這本是要給大眾健康，知道運動是什麼原因可以讓身體健康，我發現4種健康荷爾蒙，對身體很重要，也讓醫生們知道。這4種健康荷爾蒙跟線線體配合，一定會對身體更好，從運動開始來做解脫，後半則是怎麼樣的運動方法，像是在家裡就可以的運動等。

周東寬醫生也提到，想打造一個老人的「桃源鄉」，因為現在普遍越來越長壽，長壽要有完善的生活方式，像是過去提倡的唱歌、運動，所以就要打造具體的老人院，讓大家待在裡面高高興興，可以唱歌跳舞、種蔬菜等，同時也有醫療保護，年紀越長不方便時也有人可以照顧，台灣的有心人士來照顧，形成好的循環、善的循環，所以叫做桃源鄉。

周東寬醫生兒子周東佑樹受訪時也說，從小到大我就看著父親身為醫生的樣子。後來與他一起



大家邊享用餐點邊欣賞表演共事後，我發現他有更多值得敬佩的地方。他待人非常和善，熱心助人。剛才他自己也提到，無論何時，只要有患者聯絡他，他都會因為擔心主動回覆，雖然非常忙碌，但我經常看到患者感激他的模樣。此外，他在醫療領域展現出非凡的才能，例如影像診斷的直覺力，這真的讓我非常佩服。雖然我接受過日本大學醫學院的醫療教育，但從父親身上，我依然覺得有許多值得學習的地方。

在新書發表會的同時，周東寬醫生也安排了演講會，除了他自己先為大家說明四個健康荷爾蒙外，也有其他講師帶來精彩的健康和醫療方面相關的演講，另外也準備了餐會和卡拉OK活動，讓大家在品嚐美食之餘也能交流，並一同快樂得唱歌，讓大家享受了一個美好的假日午後。

吳秀鸞獲支持接任台日協贊會會長 明年一月起上任



紀念合影

【東京／採訪報導】台日協贊會於11月3日舉行理監事會，蔡美銀會長考慮到身體健康因素，決定卸下會長工作，經過她的推薦，以及理監事全體同意，由吳秀鸞接任會長一職，將於明年1月1日起上任，1月12日則預計舉行交接活動。

蔡美銀會長表示，台日協贊會成立至今已五年，我很滿足現在有77位會員，但還是希望可以增加到100位，很感謝副會長、監事長、理監事等的支持，因為台日協贊會的錢是要花在需幫助的人身上，因此會議活動較少，而最近因為身體因素，所以將會長交接給吳秀鸞，今後也會繼

續參與台日協贊會活動，也希望能達成100個會員的目標。

宋惠芸副組長表示，台日協贊會活動雖然很少，但都將最大的資源花在慈善活動上，也會組團回到高雄等地參訪慈善機構等，展現出大愛精神，今年花蓮地震時，台日協贊會也捐出120萬來協助災民，在此致上最深的謝意，也謝謝蔡美銀會長帶領理監事，展現將台灣無私奉獻的精神，也相信在蔡美銀會長的基礎上，吳秀鸞會長也能做得更上一層樓，代表處也會給予最大的幫忙和協助。



吳秀鸞會長致詞



蔡美銀會長和吳秀鸞會長接下宋惠芸副組長轉交的代表處協贊金

吳秀鸞會長表示，台日協贊會做的慈善，也是我一直以來想做的事情，不然我沒有那麼好的能力接會長，但如果台日協贊會的宗旨就是這樣，我會很用心地去做，很努力地去去做，希望大家繼續給我支持。

台日協贊會自成立以來，積極投入許多慈善活動，包括關心台灣和日本的弱勢團體，以及每當台日間有天災發生時，也會發起募款活動等。這次的理監事會也舉行了懇親會，讓大家交流感情，同時也決定明年1月12日舉行會長交接儀式。

駐日代表李逸洋出席東北六縣華僑親睦會 東北僑胞感受政府的關懷



李大使致詞



山形縣吉村美榮子知事(右2)與李大俊伉儷、羅會長美杰(右1)合影

【山形／綜合報導】山形縣中華總會於11月9日在山形舉辦「東北六縣華僑親睦會」，日本中華聯合總會於當日同一地點舉辦第40屆第2次常務理監事會，會後共同舉辦懇親餐會，以擴大活動效益。日本各地僑團理事及日華親善協會會長後藤完司等日籍友人把握難得機會踴躍參加。駐日代表李逸洋夫婦應邀出席，傳達政府對東北僑胞的關懷。

駐日代表李逸洋致詞表示，東北六縣幅員廣闊相聚不易，感謝東北六縣華僑團體會長輪流舉辦親睦會，日本中華聯合總會會長特別到山形舉辦理監事會，促進各地僑團聯繫交流；並向與會人員說明臺灣發展現況及亮麗的表現，以及中華民國臺灣絕對有信心在兩岸競爭中佔領有利地位，獲得最後勝利。

山形縣中華總會會長羅美杰致詞表示，感謝各地僑團理事及日華親善協會成員出席，希望藉此活動增進東北六縣與其他地區僑團聯繫，更盼



紀念合影

促進與支持日本友人交流，深化臺灣與地方政府的關係。

日本中華聯合總會會長羅鴻健及山形縣日華親睦協會會長後藤完司分別上台表達僑胞演民問大使推動臺日友好關係。懇親餐會名譽會長在大阪中華總會洪里勝引領乾杯後進行，與僑胞把握難得機會與李代表合影留念。

翌(10)日山形縣中華總會安排半日遊，讓與會人員有更深入互動。山形縣知事吉村美榮子也在途中會晤駐日代表李逸洋並就臺灣與山形縣交流交換意見。

日本台灣不動產協會忘年會 超過百人盛大參與



忘年會紀念合影

【東京／採訪報導】日本台灣不動產協會於11月20日舉辦忘年會，許多旅居關東地區的僑領僑胞、不動產業者、相關產業人士等超過100人出席，駐日副代表周學佑、經濟組組長林春壽、僑務組副組長宋惠芸、日本中華聯合總會羅鴻健、參議員白井正一夫人白井千鶴子等人也出席共襄盛舉。

理事長濱田裕子表示，現在日本經濟逐漸上升，再加上日幣便宜，有很多的海外客人來購買不動產，相信大家生意都很好吧，有經濟專

家說這十年日本經濟會變好，請大家要把握這個機會，我們一起努力吧。我的公司叫三富，這個意思是自己富有、對方也富有，還有我們的夥伴也富有，三富的意思。今後希望能結合大家的力量，讓不動產協會更上一層樓。

副代表周學佑表示，不動產是經濟的支柱，與社會的發展有很大的關係，在台灣有句話叫預知前路，請問過來人，所以這次能參加不動產協會的活動，可以聽到各位專家們寶貴的意見，也期待大家透過交流，創造更多機會，最後也感謝



濱田裕子理事長致詞



周學佑副代表致詞

觀光署攜手江之電推彩繪列車 宣傳台灣燈會魅力促日客訪台



【神奈川／採訪報導】2025台灣燈會將於2月12日至2月23日在桃園盛大登場，為了促進日本旅客訪台並參加燈節，交通部觀光署與特別江之島電鐵合作，於12月4日至明年3月3日推出「嗶嗶嗶！台灣燈會號」車身彩繪列車，希望藉由江之電的高人氣，以及江之島聖誕點燈與台灣燈會之光之饗宴共構，吸引日本民眾的注目，提升日本旅客赴台觀光的意願。

觀光署東京辦事處所長鄭憶萍（右）與橫濱辦事處處長張淑玲（左）觀光署東京辦事處所長鄭憶萍表示，台灣燈會是台灣最大的光之饗宴，每年大概都會有超過一千萬以上的人次觀光參觀燈會。而江之電不論平日假日人潮都非常多，一天大概有10萬以上的人次，同時冬天江之島也會舉行聖誕點燈，跟台灣燈會是一樣的夜間祭典，希望透過這次的台灣燈會觀光彩繪列車，讓當地居民和觀光客看到列車時，能聯想到到台灣參觀台灣燈會。

此次江之電「嗶嗶嗶！台灣燈會號」車身彩繪列車為營造台灣光之祭典的感覺，車身底色以全黑為主，上半部以夜空中冉冉上升飛舞的天燈，下半部則以2024台灣燈會主燈「龍來台灣」造型，並運用台灣觀光新品類3.0「TAIWAN Waves of Wonder」（台灣魅力·驚喜無限）及驚喜一波一波的橘色WAVE線條，來勾勒象徵台灣山脈、海岸、道路、鐵路等意象。同時彩繪列車於明年1月5日前拍照投稿有機會獲得東京台北來回機票外，2月12日至23日燈會期間，江之電亦將於沿線三家周邊商品賣店發送2025燈會小提燈。

江之島電鐵株式會社經營管理部專任部長佐藤克久受訪時也提到，台灣的燈籠彩繪列車已經開始行駛，我們也希望藉此促進國際交流發展，並誠摯邀請大家前來搭乘，江之電是日本鐵道中一條可以悠閒享受時間的線路，如果想放鬆心情，有許多可以讓客人悠閒享受的空間，因此我們也很推薦平日的觀光旅遊。

海、寺廟和神社等多樣化的景點。建議大家不要只待在某一地方，可以多走走，探索沿線各個角落。

鄭憶萍也提到，明年的台灣燈會將於2月12日至2月13日在桃園舉行，地點交通非常便利。許多旅行社也推出了相關的台灣燈會旅遊產品，無論是參加旅行團的旅客，還是自由行的旅客，我們都誠摯邀請大家於明年2月12日至2月13日，來到台灣桃園參加2025台灣燈會。

橫濱辦事處處長張淑玲也受邀搭乘彩繪列車，她表示，期待能透過江之電在日本國內外的高人氣，為台灣燈會提升知名度和吸引更多日本旅客赴台旅遊。同時她也分享到近年來台灣與神奈川、靜岡地區在建立姊妹鐵道關係，並表示，未來不僅是建立姊妹鐵道，也可以一同合作推出企劃商品等，鐵道是市民的雙腳，也是城市觀光的門面，希望未來能透過這樣的方式，促進雙方觀光的成長。

依據交通部觀光署日前發布，今年赴台旅客人數截至12月3日已超過700萬人次，整體觀光市場呈現穩步成長趨勢，台灣觀光雖受各種因素影響，但仍受國際旅客喜愛，其中受日幣貶值、海外旅遊意願不強之日本市場，訪台人數約118萬人次，重回來台客源市場冠軍寶座。

觀光署東京辦事處表示，「江之島電鐵」是神奈川縣內鎌倉～藤澤間約10公里15站的鐵路，在鐵道迷和觀光客間相當受歡迎，也是東京市民近郊一日遊的好去處，因此「嗶嗶嗶！台灣燈會號」車身彩繪列車，鎖定日本出國率最高的東京都、神奈川縣進行宣傳，各家旅行社亦推出日本各地出發的2025台灣燈會商品，歡迎日本民眾明年遊台灣賞花燈。

台灣燈會（英語譯名：Taiwan Lantern

李安獲日藝術界諾貝爾世界文化獎 台灣首位藝術家受獎



【東京／採訪報導】第35屆「高松宮殿下紀念世界文化獎」11月19日舉行頒獎典禮，台灣導演李安獲得以其對戲劇與影像領域的傑出貢獻，成為首位獲此殊榮的台灣藝術家，由常陸宮妃華子殿下代為頒獎，日本前首相岸田文雄也出席頒獎典禮，以及駐日大使李逸洋也到場與李安會面祝賀。

「高松宮殿下紀念世界文化獎」活動是由日本美術協會主辦，有著日本藝術界諾貝爾獎之稱，種類包含繪畫、雕塑、建築、音樂、劇場／電影，今年除了李安以外，也還有日本建築師坂茂、法國裝置藝術家蘇菲卡爾、哥倫比亞雕塑家莎塞多、葡萄牙鋼琴家皮耶耶絲，李安則是此獎中首度獲得的台灣人。隔天11月20日則會前往皇居獲天皇召見。

日本美術協會會長日枝久致詞時表示，這個獎項已經有35年，誕生了180位得獎者，超越國境和種族，讓大家再度認識藝術的偉大力量，今年的得獎者們以其創造力與核心理念而聞名，同時他們也提到受到日本文化的影響，這讓人更加深刻感受到其影響力之強大。今後希望能藉由世界文化獎，在藝術、文化層面進一步努力，為世界的和平和繁榮帶來貢獻。

李安表示，我的作品能獲得認可，其實是無數藝術家和匠人共同努力的成果，而我只是這個集體創作中的一分子。他也形容，電影院如同一座聖殿，電影是一種儀式，透過它們我們得以映照人生，探索真相。他也提到，創作是一個無止境的學習過程，透過拍片他不僅學會如何講述故事，也學會更深刻地理解自己與世界。

說看一本書就像學一個人生經驗，大家可以多參加青商會，會有更多機會學習。

這次座談會吸引60多位年輕朋友參加，為了讓大家彼此互相認識，座談會結束後也舉辦懇親交流會讓年輕人互相交換名片，大家也用難得機會交流，也有不少與剛上任不久的李逸洋代表交流、合影留念，讓懇親交流會顯得相當熱鬧，也讓這天日總青商會舉辦的交流活動圓滿成功。



大家合影留念

李逸洋大使表示，李安先生算是得獎無數，但是高松宮殿下紀念世界文化獎台灣人第一次，意義非常重大，我們全體國民都會感到非常驕傲，今天來分享他的榮耀。過去也曾看過李安的臥虎藏龍、色戒等，拍過的作品都非常有名。

日總青商會座談會 了解僑胞歷史與台商發展史



林德修青商會長致詞

詹德薰榮譽總會長分享經驗

李逸洋駐日代表致詞

【東京／採訪報導】日本台灣商會聯合總會青商會於10月19日舉辦「商機的創意 日本台商從過去走向未來」座談會，邀請到日本台灣商會聯合總會名譽總會長詹德薰分享華僑的歷史和台商的發展史，以及分享自己的經營經驗等，吸引不少關東地區年輕僑胞參與，大家也用難得的機會互相交流，與台商前輩們交流討教。

今天的座談與餐會，不僅是讓大家彼此認識，也希望讓更多人了解商會的價值與使命。今天的座談及餐會，除了讓大家互相認識外，也想藉由這個機會讓更多人了解商會、認識商會。很感謝大家參加這次的座談會，也感謝詹德薰榮譽會長，能夠在百忙之中蒞臨，為我們年輕人分享寶貴的經驗與智慧，讓這次活動更加精彩。

詹德薰也提到，1972年斷交以後，將原本中華民國的外資資產交給中華人民共和國，同時華僑也進入新的階段，除了選擇支持的國家外，也因為過去累積的資產，以及當時赴台簽證是透過華僑總會辦理，讓華僑組織發展成一定的規模，但隨著日本面臨泡沫經濟，許多華僑也深受影響，甚至傾家蕩產。

本座談會，駐日代表李逸洋、顧問張瑞麟、僑務組副組長宋惠芸、亞洲台灣商會聯合總會名譽總會長陳五福、日本台灣商會聯合總會總會長東鄉清龍、監事長藤田礼子、東京台灣商會會長張素娥等僑領也到場與年輕人交流。

榮譽總會長詹德薰先提到華僑的歷史，最早可以追溯到清朝時期，就有在日本設立大使館，1945年日本戰敗以後，有一部分繼續留在日本，變成第一代的華僑，當時生活困苦，但因為中華民國是戰勝國，所以可以拿到美軍配給的生活用品，透過當時在日本個個道府縣都有華僑總會的組織分配，以及成立各地同鄉會等來協助領取，而有些華僑就將物資轉賣給日本人，再加上允許戰勝國經營娛樂產業，逐漸累積的財富讓華僑在日本社會中站穩腳步。

同時也提到接下來陳五福榮譽會長很有機會擔任世總總會長，希望年輕人繼續給予支持，也希望年輕朋友加入台商會。此外詹德薰分享了其當初的創業經歷，如何掌握機會創造商機等。

日總青商會會長林德修表示，今天現場有很多青商朋友，那也看到很多新朋友，無論你有聽過「日本台灣商會」這個詞，今天，希望藉此機會讓大家更加了解。我們不是一個難以接近的團體，我們都是跟各位一樣在日本生活的台灣人。

駐日代表李逸洋表示，詹德薰榮譽總會長頭腦好，大膽嘗試掌握商機，值得年輕人學習，講座也非常成功，很高興看到年輕朋友們利用休息時間交換名片認識新朋友，跨界經驗分享，也向各位年輕朋友致敬，來到日本都要帶著拚勁、理想等來開發人生新事業，也感謝日總創立青商會，提供給年輕人交流、經驗分享、擴充人脈、掌握商機，非常好的平台，對大家的工作或創業幫助非常大，也感謝像詹榮譽會長等僑界前輩願意與年輕人分享。

日總總會長東鄉清龍帶領領杯時表示，詹榮譽會長的經驗是很難得能聽見，還沒聽過的人很多，希望年輕人可以踴躍學習，過去老師常

李正皓、卓冠廷東京開講 解析台灣政治挑戰與新台派未來



政治評論家李正皓

新北市議員卓冠廷

年輕僑胞與蕭俐俐、郭雨新、卓冠廷、李正皓合影留念

【東京／採訪報導】新北市議員卓冠廷與政治評論家李正皓11月24日應日本關東信賴台灣之友會邀請，在東京以「新台派崛起與未來政治發展」為主題演講。兩人以「搶救王義川行動」為例，剖析民進黨如何突破被動局面，重燃支持者熱情。卓冠廷談及透過創新活動凝聚民意的重要性，李正皓則強調保持「正向、歡笑、負責」價值應對挑戰，分析了新台派政治與社會運動未來發展方向。

在此背景下，透過「搶救王義川行動」，販售應援小物、舉辦實體活動和網路直播重新激發民眾熱情，讓支持者找到洩憤的出口。這場行動不僅凝聚了愛台灣的力量，還提升了年輕世代對民進黨的認同感。成功將民進黨的不分區支持率從 25% 提升至 36%，增加了立法院席次。因此卓冠廷也說，民進黨必須改變心態，走出防守框架，以正確的資訊和生動活潑的方式與民眾對話。未來，台派需延續這種積極模式，對抗假訊息，強化民意連結，確保台灣的民主自由由長久維繫。

日本關東信賴台灣之友會蕭俐俐會長表示，首先要感謝關東信賴台灣之友會的大家，從去年成立到現在，大家都支持著台灣，我們除了回到台灣參加選舉、組團參加賴清德總統就職典禮，也因為大家的熱情，讓信賴台灣總會對我們念念不忘，因此今天三位放下工作，來到日本演講，也希望透過演講讓大家認識台灣現在需要團結，這兩位演講者就是凝聚台灣團結重要人物，他們有很多策略和願景，聽完演講後能激勵在日本、全世界僑胞，為母國台灣努力。

李正皓在演講中以「台灣民主的挑戰與解方」為題，聚焦當前政治情勢。他指出，台灣民主的挑戰並非在於期待國民黨或民眾黨改善，而是如何讓民進黨在執政中不斷進步。藍白陣營近期合作取得立法權，並推動修法企圖廢除憲法法庭，這對台灣民主制度構成重大威脅。律師界前所未有地穿著律師袍走上街頭，抗議憲法訴訟修法，顯示這一行動已觸及社會各界的底線。

信賴台灣總會郭雨新理事也一同從台灣來日出席演講活動，他表示，自從520就職後，卓榮泰院長很希望跟大家謝票和交換意見，了解僑民需要的幫助和給國家的建議，昨天很幸運在東京巨蛋看台灣隊比賽，也是台灣隊第一次打進前四強，我很感動，因為東京巨蛋有四萬觀眾，其中有一萬是台灣人。這次也很榮幸邀請卓冠廷議員和李正皓，兩人不僅耳熟能詳、年輕，也是對政治投入非常多熱情，希望大家也多多給他們意見，將意見帶回台灣。最後也感謝大家的支持，有僑民的支持，才有今天的台灣。

李正皓在演講中，以「搶救王義川行動」為例，分享民主的挑戰與解方在於保持「正向、歡笑、負責」的價值，這也是行動成功的因素之一，直面問題、接觸民意的重要性。同時，他也指出台派需要突破舒適圈，改變執政心態，並善用直播、文章等工具來重建對話能力。並以負責的態度應對政治挑戰，確保未來選舉中，台派能持續執政並鞏固立法優勢，讓台灣的民主制度在困境中找到解方。

卓冠廷在演講中分享了「搶救王義川行動」的經過與成果，並說明了民進黨在選戰中的被動表現。他指出，雖然民進黨在執政期間努力推動政策，但過去八年常處於防守狀態，缺乏與民眾有效溝通的能力，導致輿論與民調持續被壓制。他強調，藍白陣營在立法

演講結束後，也舉辦了懇親會，讓郭雨新理事、卓冠廷、李正皓能與僑胞們交流，同時也展現出他們的人氣，不斷有僑民希望合影留聲等，不少人也利用難得機會表達對台灣未來的看法與關心，讓現場的交流氣氛顯得相當熱絡。

神戶摩登建築祭暨台灣茶飲茶點 BAR 點綴神戶華僑總會會館新風情



神戶市長合影

台灣茶飲活動

【神戶／綜合報導】關西地區一年一度建築祭接力賽正式起跑，神戶於11月22日至24日共3天盛大舉辦。去年僅限於中央區範圍的建築物路線，今年擴大並新增許多新景點。繼去年創下神戶地區入場人數第一名後，2024年中華民國留日神戶華僑總會再次妝點白色會館，準備迎入想一探總會的建物、歷史風情的各方雅士。

建築祭活動為稿，設計極具收藏價值的「建築祭卡」。其中神戶華僑總會的卡片為紅底金字，喜氣洋洋又大氣，會館以白線條繪繪而出，更顯跳躍活力。除充滿復古、異國風情的建築物外，擺放在會館的三太子也是一大特色。對於許多人場者而言，對於三太子的印象僅限於神戶祭出場時，能如此近距離拍攝及觀賞，都令與會者讚嘆不已。今年更增設台灣茶飲茶點會，由專業茶師當場泡出台灣茶的清香美味，即於寒冬中依然能被台灣茶溫暖透心。飲茶賞景之餘也可認識台灣茶的特色風味，亦可當場購入，甚達宣傳台灣茶文化之效果。

11月16日建築祭委員會先行向媒體記者公開此次參展會館的一部分，NHK新聞網站以「神戶的近代建築物見報章向ヶ丘」為題，拍攝了會館的一角。11月20日的神戶新聞報更刊登本會高江正副會長受訪一幕，可顯本會建築物之高人氣。其餘相關報導影片將會陸續放上本會Facebook，敬請點擊按讚！為使每年都可吸引海內外的建築物粉絲們持續或新加入觀賞行列，今年起以神戶具代表的三